

ベビーカー

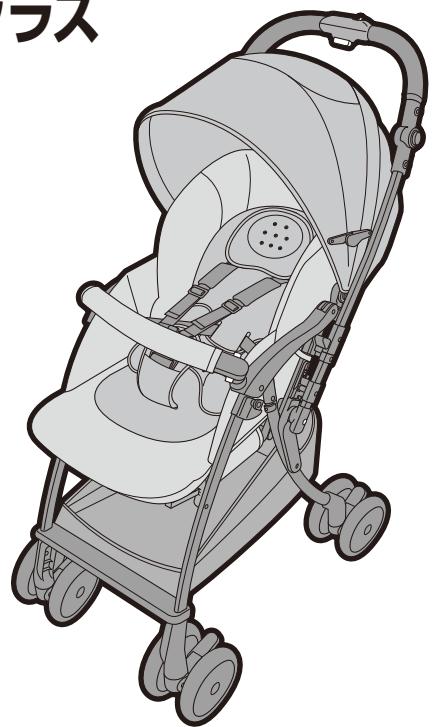
ラクーナ クッション フリー プラス

取扱説明書／保証書

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この製品は生後1ヶ月*～36ヶ月(体重約15kg)までの乳幼児1人用ベビーカーです。

*ここでいう生後1ヶ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、1ヶ月を経過した乳児を指します。この条件を満たないお子さまへのご使用については医師にご相談ください。

ご使用の前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後は、本書はいつも取り出せる場所に必ず保管してください。
本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。



SG安全基準A形

目次

はじめに

ご使用前に 1

製品の特徴／本書の表示について

ご使用上の注意 2~4

警告／注意

製品を取り出した時に 5

各部の名称 6

ベビーカーの使用方法

ベビーカーの開き方 7

ハンドルの角度調節の使い方 8

ストッパーの使い方 9

フロントガードの使い方 9

シートベルトの使い方 10

お子さまの乗せ方 11

キャスターの使い方 13

ハンドルの切替え方(オート4輪の使い方) 14

押す人側キャスターの使い方(4輪フリーの使い方) 17

足のせサポートの使い方 20

カゴの使い方 20

リクライニングの角度調節 21

パッド類の取り付け方 23

肩ベルトの高さ調節 25

日除けの使い方 26

ベビーカーの折りたたみ方 27

縫製品の取り外し方法

日除けの取り外し方 29

エアーシートの取り外し方 29

フロントガードカバーの取り外し方 29

シートの取り外し方 30

シートの取り付け方 31

その他

日常のお手入れ 32

保管について／点検について／廃棄について 34

困った時 35

SGマーク制度について 36

保証とアfterserviceについて 37

保証書 38

- ・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
- ・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合もありますので、あしからずご了承ください。

ニューウエルブランズ・ジャパン合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル
ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

ご使用前に

この製品は一般家庭を対象として、乳幼児を乗せ、外気浴、買物などに使用する1人乗り用のベビーカーです。

使用範囲	生後1ヶ月*～36ヶ月(体重約15kg)まで
適合基準	SG基準A形
望ましい連続使用時間	寝かせた姿勢:2時間以内 座らせた姿勢:1時間以内

*ここでいう生後1ヶ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、1ヶ月を経過した乳児を指します。この条件を満たさないお子さまへのご使用については医師にご相談ください。

安全、快適にお使いいただくために

- ・ベビーカーの連続使用、長時間使用は避けましょう。
- ・お子さまに直射日光が当たらないように配慮しましょう。
- ・騒音や粉じんの多い人混みはなるべく避けましょう。
- ・振動や衝撃のかかりやすい段差や道路はできるだけ避けましょう。

製品の特徴

- ・ハンドル：背面・対面切替え式
- ・カゴ耐荷重：5kg
- ・シートベルト：マグネットバックルを使用
- ・キャスター：【オート4輪】ハンドルの背面・対面切替えに運動して常に進行方向前側のキャスターがロック解除される機能があります。
【4輪フリー】ハンドルレバー操作で押す人側のキャスターがロック解除される機能があります。

本書の表示について

- ・「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

禁止図記号	表示の意味
🚫	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。

便利アイコン	製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。
--------	------------------------

ご使用上の注意

- ・思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用の前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	<p>お子さまが落ちるおそれがあります。</p> <p>シートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)を外して使用しない。</p>  <p>お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。</p> <p>シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。</p>  <p>路面の溝にベビーカーの車輪がはまり、前のめりになるなどしてバランスがくずれベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。</p> <p>排水溝の格子状のふた(グレーチング)や踏切など、幅の広い溝がある路面を通過する必要がある時は、溝に車輪がはまる場合があるので、注意しながらゆっくり押すこと。</p>  <p>車輪がはまつた時は、フレーム(パイプ)とハンドルを持って、はまつた車輪を引き上げてください。その際はベビーカー全体を持ち上げないでください。</p> 
	<p>坂道などでベビーカーが勝手に走行、転倒するおそれがあります。</p>  <p>お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右ともロックし、ベビーカーが動かないことを確認する。</p>  <p>お子さまや荷物をのせた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対的に動かないようにできるものではありません。</p>  <p>お子さまを乗せたままベビーカーを離れない。</p> 
	<p>バランスを崩したり、足下が見えなくて転倒するおそれがあります。</p>  <p>お子さまを乗せたままベビーカーを持ち上げない。</p>

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベビーカーが転倒するおそれがあります。



二人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。



階段やエスカレーターなど大きな段差のあるところで使用しない。



ベビーカーを使用中は走らない。



カゴ以外のところに荷物を載せたり、ハンドルにつるしたりしない。また、ハンドルによりかかったりしない。

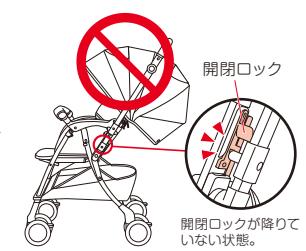


お子さまが落ちたり、お子さまの首にシートベルトが巻き付き窒息するおそれがあります。

シートベルトは必ず正しく装着し、お子さまに合わせて長さを調節すること。

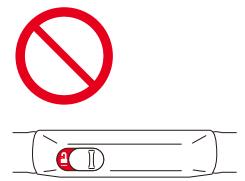
ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まるおそれがあります。

ご使用時は、開閉ロックが完全に下まで降りている事を確認する。



開閉ロック
開閉ロックが降りていられない状態。

必ずハンドル部に青色■が表示された状態でベビーカーを走行させること。



路面の影響も加わって、ベビーカー内の温度が高くなるおそれがあります。



気温が高い時や日ざしが強い時は、長時間使用しない。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

- ・お子さまにベビーカーを操作させない。
- ・お子さまの股間に股ベルトの位置に合わせて乗せる事。頭側に寄りすぎるとベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。
- ・弊社サービス員以外はネジやナットなどの部品を取り外したり、分解・組立・改造をしない。
- ・シートを外した状態で使用しない。

- ・出荷時に取り付けられている部品、および弊社指定の部品または製品以外は使用しない。
- ・急激に力を加えたり、落下、放り投げなどによる強い衝撃が加わった後に使用しない。
- ・お子さまの遊び道具として使用しない。
- ・電車などのご利用時には、無理な乗り降りはしない。ベビーカーが電車などの自動ドアにはされても感知されない場合があり、大変危険です。

注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

・必ず定期的に点検とメンテナンスを行ってください。(点検についてはP34を参照ください。)

・ご使用前に、ベビーカー本体とシート、日除けが正しく取り付けられていることを確認してください。

・可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはシリコン滑走剤をご使用ください。

・長期間ご使用されていなかったベビーカーを再度ご使用になる場合には、必ず点検とメンテナンスを行ってください。

・空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。

・ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。

・2台のベビーカーを連結して使用しない。

・前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲りや折れの原因になります。

・ベビーカーにお子さまを乗せて走行するときは、お子さまのために普通の歩き方(時速約4キロメートル位の速さ)で押す。

・ベビーカーを砂場や泥水のあるところで走行させない。砂などが入り車輪やキャスターがスムーズに回らなくなる原因となります。

・フレームに砂や泥の汚れをつけたままで使用しない。スライド部に砂などが入り開閉できなくなります。

・ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的とした市販のボードなどは取り付けないでください。破損の原因となります。

・力ゴに重量5kg以上の荷物を入れない。

・保護者、介添者などが、ベビーカーに腰掛けない。

・荷物などの運搬のために使用しない。

・その他、お子さまを乗せる以外の目的で使用しない。

・本製品は、電車やバスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車やバスの中で使用する時は、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずお子さまに肩と腰のシートベルトを装着の上、ストッパーをかけ、ベビーカーから手を離さず充分注意してご使用ください。乗り降り時には、電車とホームとの段差や隙間、バスと路面との段差に充分注意して乗り降りしてください。

また、事前にご利用の公共交通機関に利用の可否、使用方法をご確認ください。ご利用条件を満たさない時は、ご使用になれません。なお、ご利用条件を満たす場合でも、電車またはバス内でベビーカーを使用した際の安全を保証するものではありません。

・雪が積もった所や、凍結した路面では使用しない。

・風の強い時は使用しない。

・室内、火気の近く、高温になる場所ではレインカバーなどを使用しないでください。ベビーカー内部の温度が高くなりすぎるおそれがあります。

・火の近くや炎天下で高温になる車中に放置したり、直射日光に長時間さらさないでください。樹脂部品が変形し、性能を維持できなくなったり、熱くなったベビーカーの部品でお子さまがやけどするなどのおそれがあります。

・その他、ベビーカーの故障の原因となるようなことはしない。

・段差を無理に乗り越えようとしてください。破損や故障の原因となります。

〈段差の乗り越え方〉



対面での使用の場合は、ステップに足裏をあて、ハンドルを手前に引いて乗り越えてください。



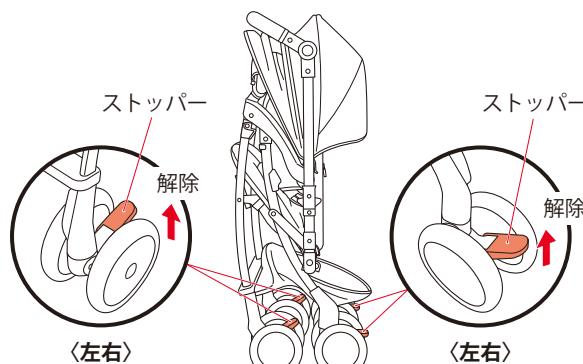
背面での使用の場合は、ハンドルを押し下げ、同時にアームレスト部を引き上げて乗り越えてください。

製品を取り出した時に

- ・製品を取り出した後は、部品がそろっているか、破損がないかを確認してください。
- ・欠品や破損の際は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P37参照)
- ・ご使用の前に、P38「保証書」に次の項目をご記入ください。
 - ①品番、ロット番号(P6「各部の名称」参照)
 - ②購入日
 - ③お客様のお名前、住所、電話番号
 - ④販売店名
- ・レシート(領収書)を本書と一緒に保管してください。(P37参照)

本体

- ・箱から取り出した時は折りたたんだ状態です。
- ・ベビーカーを開く時はP7、P8を参照してください。

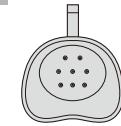


〈製品を取り出した時には〉
前後のストッパーがロックされた状態になって
おります。
ご使用の前にストッパーのロックを解除して
ください。(P9参照)

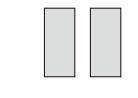


- ・ご使用の前にストッパーのロックを解除してください。(P9参照)

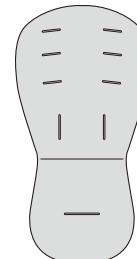
付属品



ショックレススマモールパッド



肩ベルトカバー



腰マモールパッド



衝撃吸収パッド
(ショックレススマモールパッドに
内蔵されています。)



エアーシート
取扱説明書／保証書
(本書)

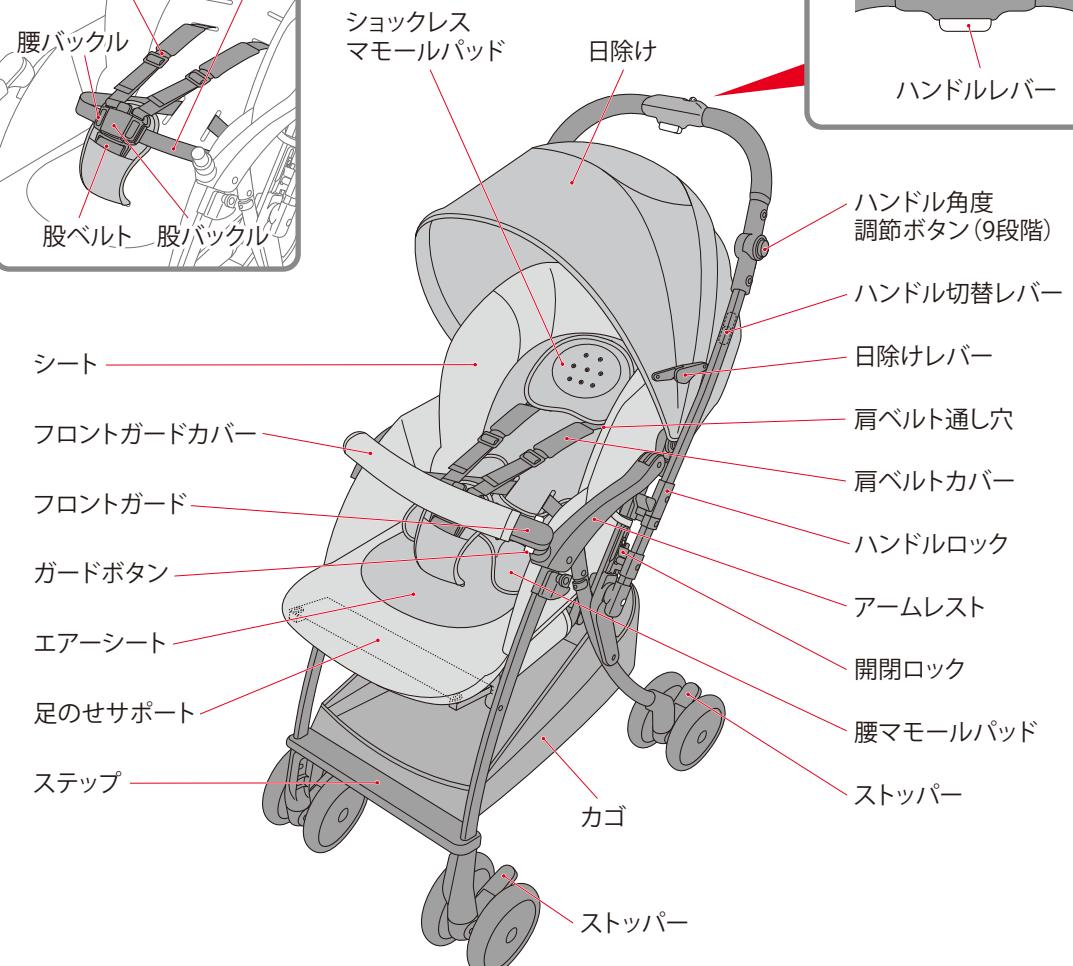
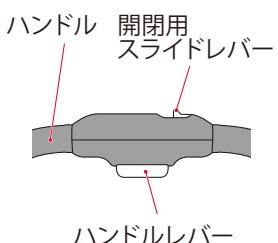
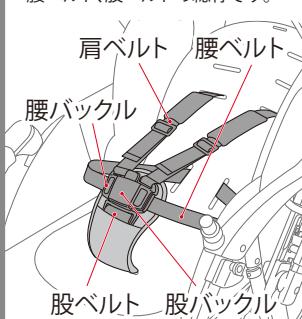


- ・製品が入っていた箱、梱包部材、ポリ袋をお子さまの手の届く所に放置しない。
お子さまがかぶったりして窒息するおそれがあります。

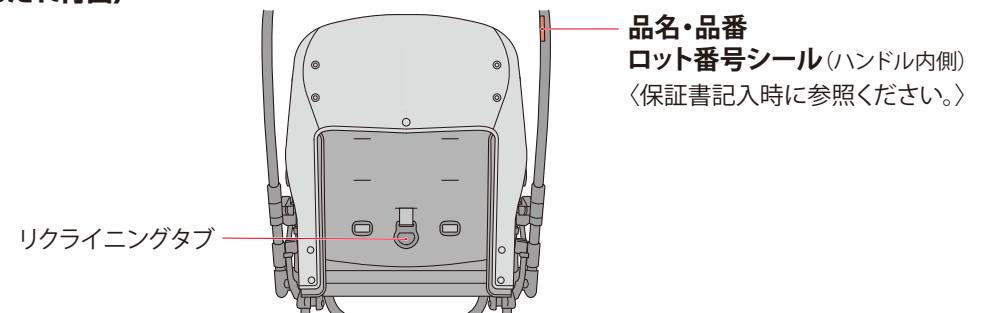
各部の名称

〈シートベルト〉

シートベルトは、肩ベルトと
腰ベルト、股ベルトの総称です。



〈背もたれ背面〉



ベビーカーの開き方

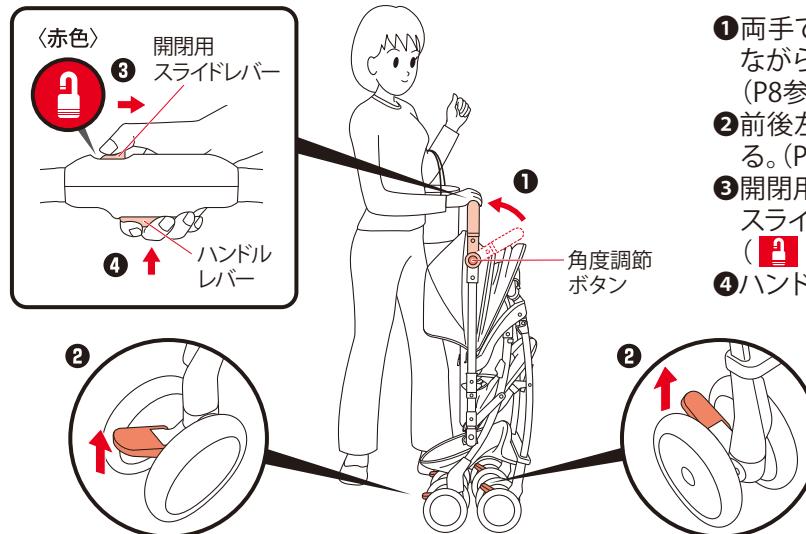


- ・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。
- ・ベビーカーを完全に開くことができるスペースのある場所で開く操作を行うこと。狭い場所でベビーカーを開くと、開閉ロックがかからず、ベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。
- ・お子さんにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

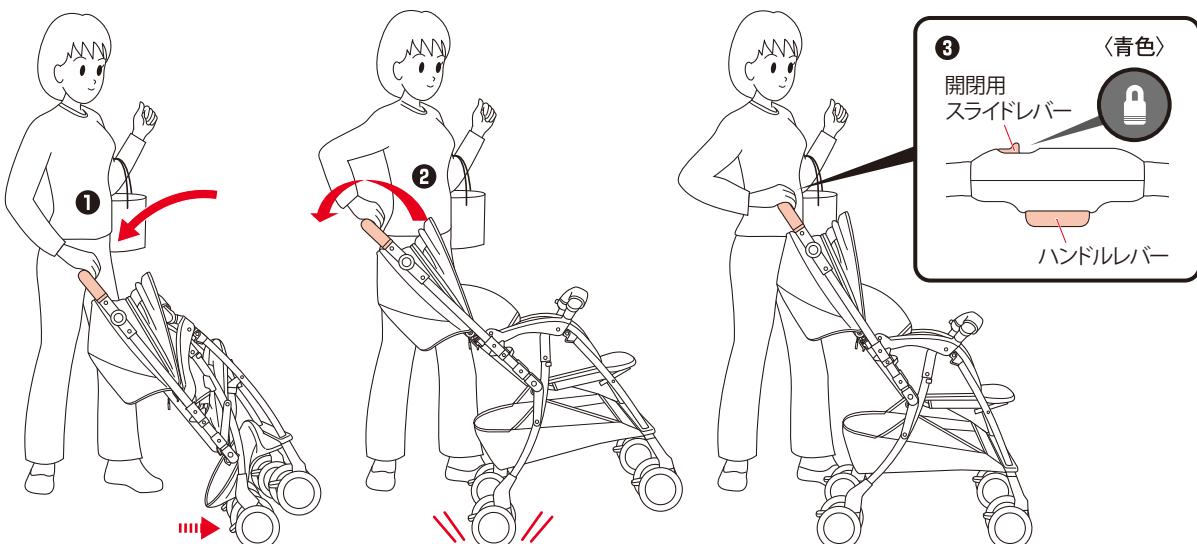
・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。

1 開く前に



- ①両手で左右の角度調節ボタンを押しながら、ハンドルをまっすぐに起こす。(P8参照)
- ②前後左右のストッパーをロック解除する。(P9参照)
- ③開閉用スライドレバーを矢印の方向へスライドさせた状態で、(赤色が表示されます)
- ④ハンドルレバーを強く握る。

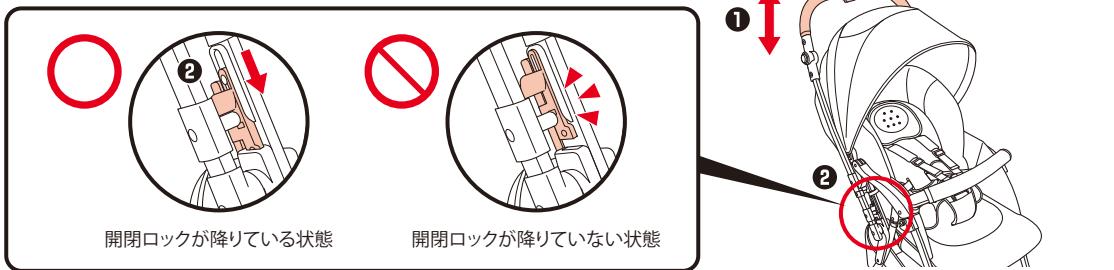
2 開く



- ①ハンドルレバーを握ったまま、ハンドルを後方に倒し、
②弧を描くようにハンドルを手前に引き、開く。

- ③ハンドルレバー、開閉用スライドレバーから手を離す。
・手を離すと開閉用スライドレバーは自動でスライドして戻ります。
(青色が表示されます。)

3 開閉ロックの確認



- ①ハンドルを上下に動かし、

- ②開閉ロック(左右)が降りて、車体が完全に開いたことを確認する。



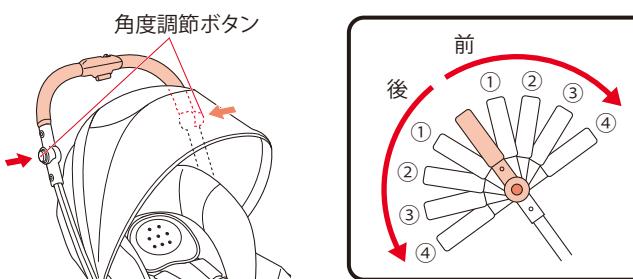
- ご使用時は開閉ロックが完全に降りていることを確認する。
- ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まるおそれがあります。



片手で開きにくい場合は、ハンドルとフロントガードを持って開いてください。

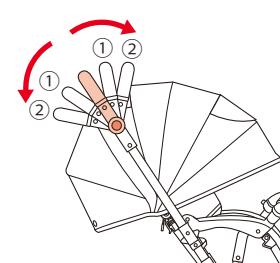
ハンドルの角度調節の使い方

〈角度調節のしかた〉



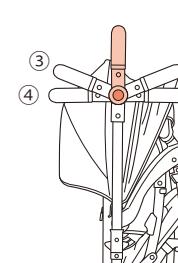
- ①両手で左右の角度調節ボタンを押しながら、ハンドルの角度を調節する。
- ②使用する角度で角度調節ボタンをはなす。

走行時：推奨角度①・②まで



使用者に合わせて
押しやすい高さに
調節できます。

収納時：角度③・④



コンパクトになり
便利です。

ストッパーの使い方

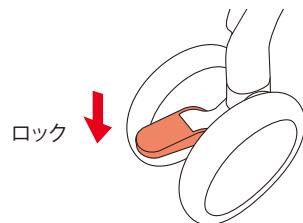
⚠️ 警告

- ・お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右ともロックすること。
- ・お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対的に動かないようにできるものではありません。
- ・ストッパーをロックしていても、お子さまを乗せたままベビーカーから離れない。

⚠️ 注意

- ・お子さまを乗せていない時でも、ベビーカーから離れる場合は、ストッパーを左右ともロックしてください。

〈ストッパーをロックする場合〉

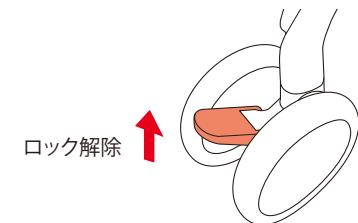


- ①押す人側の車輪のストッパーを押し下げてロックする。(左右)
- ②前後に動かしてストッパーのロックがかかっていることを確認する。



ストッパーのロックがかかりにくい時は、ベビーカーを前後させて再度ストッパーを押し下げてロックしてください。

〈ストッパーをロック解除する場合〉



- 車輪のストッパーを押し上げて解除する。(左右)

⚠️ 注意

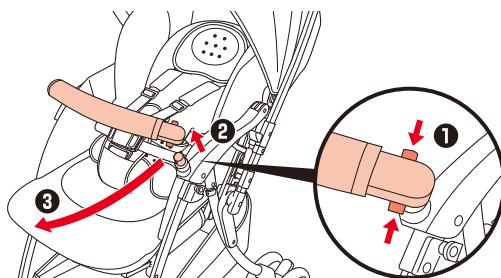
- ・ストッパーを手でロック解除する場合は、矢印の部分で指を挟まないようにご注意ください。

フロントガードの使い方

⚠️ 警告

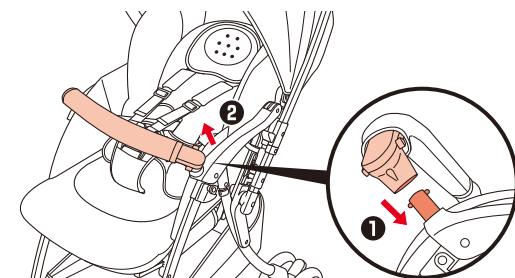
- ・開いた状態のフロントガードを振り回したりしない。お子さまにフロントガードが当たり、けがをすることがあります。
- ・フロントガードを閉じる時は、お子さまの指や手足を挟まないようにすること。
- ・フロントガードを持って、お子さまを乗せたままのベビーカーを持ち上げたり、引っ張ったりしない。
- ・フロントガードを取り付けた後は、引っ張り、ロックされていることを確認する。

〈開き方〉



- ①ガードボタンを押しながら、
- ②フロントガードを上方に引き抜く。
- ③フロントガードを下に降ろす。

〈閉じ方〉



- ①フロントガードの端部を持ち、差し込み部に向かってまっすぐに差し込む。
- ②軽く引っ張り、ロックされていることを確認する。

シートベルトの使い方

バックルについて

- ・本製品のシートベルトのバックル(股バックルおよび腰バックル)には、マグネットが使用されています。

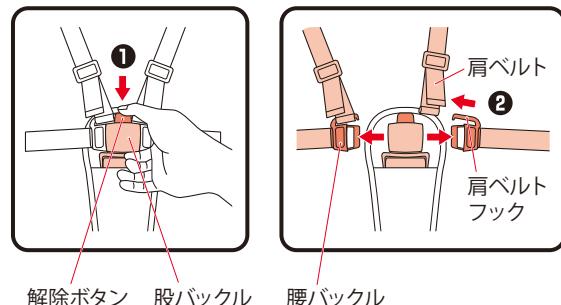
⚠️ 警告

- ・バックルのマグネットがペースメーカーの作動に影響を及ぼすおそれがあります。
- ・ペースメーカーをご使用のお子さまを本製品に乗せないでください。
- ・ペースメーカーをご使用の方がベビーカーを操作される場合は、ペースメーカーの植込み部位をバックルに近づけないでください。

⚠️ 注意

- ・クレジットカードなど、マグネットの影響を受ける可能性のあるものをバックル付近に近づけないでください。
- ・シートベルトを外した状態でベビーカーを折りたたんだり、ベビーカーを放置したりしないでください。バックルが破損したり、バックルのマグネット部分に異物が付着し確実にロックできなくなったりするおそれがあります。

シートベルトの外し方



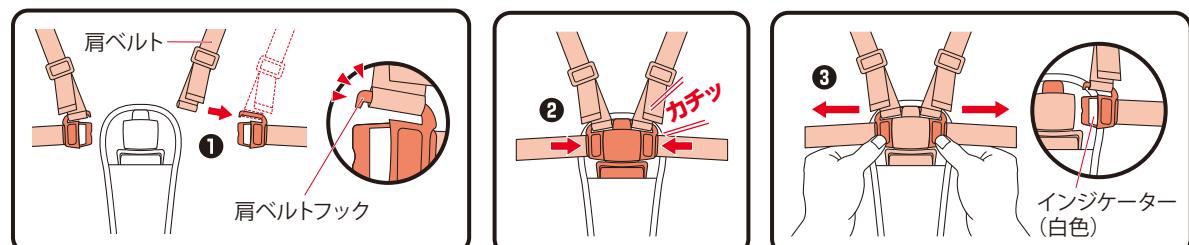
解除ボタン 股バックル 腰バックル

- ①股バックルの解除ボタンを押し、腰バックルを外す。(左右の腰バックルが同時に外れます。)
- ②肩ベルトを肩ベルトフックから抜く。(左右)



- ・股バックルの解除ボタンはお子さまが容易に操作できない強さに設定されています。
シートベルトを外す際は、解除ボタンを最後までしっかりと押し込んでください。
- ・お子さまを乗せ降ろしする際に、必ずしも肩ベルトを肩ベルトフックから抜く必要はありません。

シートベルトの締め方(バックルのとめ方)

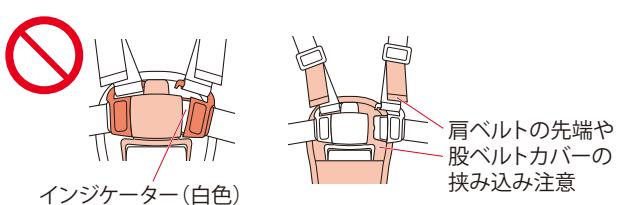


- ①肩ベルトを肩ベルトフックに差し込む。(左右)
- ②腰バックルを股バックルに差し込む。(左右)
(マグネットで腰バックルが引き込まれ、「カチッ」と音がしてロックします。)

- ③腰バックルのインジケーター(白色)が見えていないことを確認した上で、左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。

⚠️ 注意

- ・インジケーター(白色)が見えている場合は完全にロックされていません。ベルトや布の挟み込み、異物の付着がないかを確認して差し込み直してください。
- ・肩ベルトフックと股バックルの間に肩ベルトの端部を挟み込まないようご注意ください。

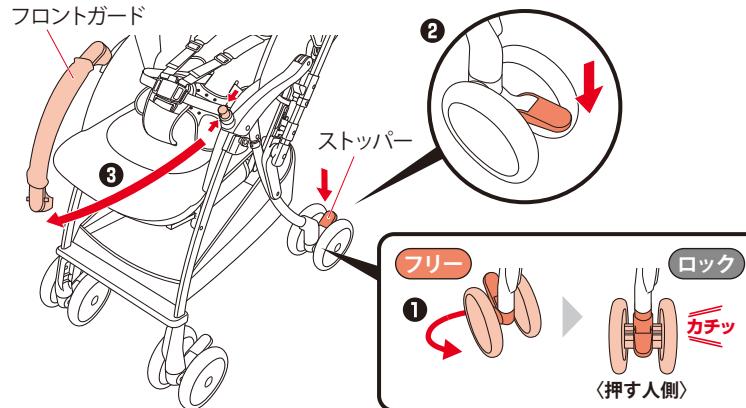


お子さまの乗せ方

警告

・お子さまだけでベビーカーに乗り降りさせない。お子さまが自分でベビーカーに乗り込む場合は、必ず保護者の方がベビーカーを支えた状態で行うこと。転倒のおそれがあります。

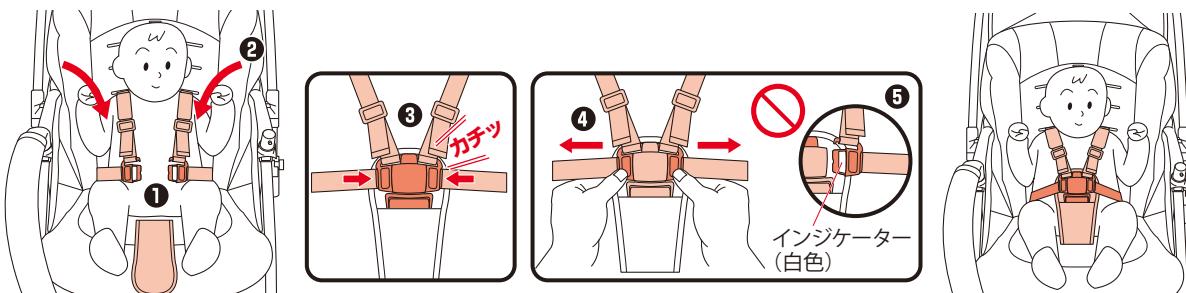
1 準備



- ①押す人側のキャスターが左右ともロックされていること(旋回しないこと)を確認する。(P15参照)
②押す人側のストッパーをロックする。(P9参照)

- ③フロントガードを開く。(P9参照)
④股バックルの解除ボタンを押し、腰バックルを外す。

2 お子さまを乗せる



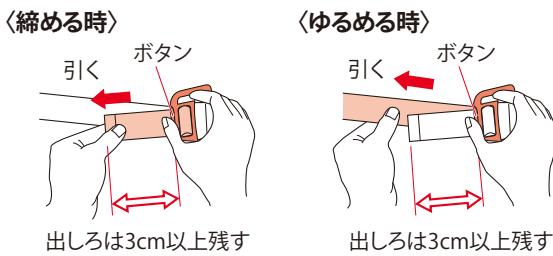
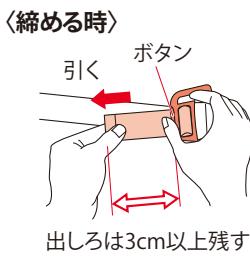
- ①お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せる。
②お子さまの腕を肩ベルトに通す。
③バックルをとめる。
④左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。
⑤腰バックルのインジケーター(白色)が見えていることを確認する。
・P10の「シートベルトの締め方」の注意もご確認ください。

- ・シートベルトを締めた後は、左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落ち、けがをするおそれがあります。
・肩ベルトは必ず肩ベルトフックに差し込んで使用すること。肩ベルトがお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
・バックルをとめる時に、お子さまの手足や衣服を挟まないように注意してください。
・シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思われる事故につながるおそれがあります。
・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。頭側に寄りすぎるとベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。

警告

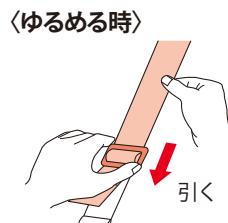
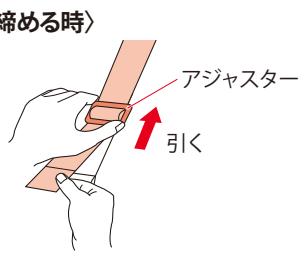
3 ベルトの調節

腰ベルト



- ボタンを押しながらベルトを引き、長さを調節する。

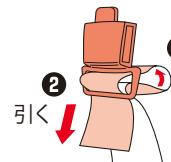
肩ベルト



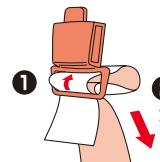
- アジャスターを引き、長さを調節する。

股ベルト

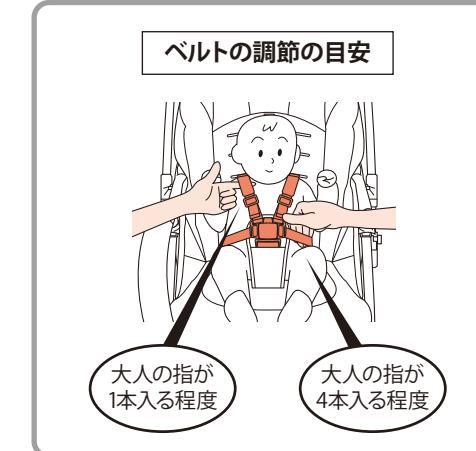
〈締める時〉



〈ゆるめる時〉

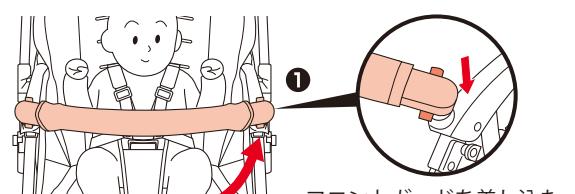


- ①ベルトを矢印の方向に送り、
②ベルトを引き、長さを調節する。
③ベルトの調節後、股バックル裏のホックを股ベルトカバーにとめる。

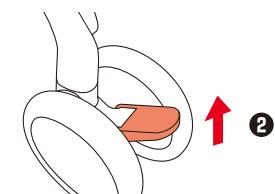


- 警告
・肩ベルト、腰ベルト、股ベルトはお子さまの成長に合わせて調節すること。
・肩ベルト、腰ベルト、股ベルトがゆるい場合は、締めても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。
・腰ベルトの末端の出しろ(↔部分)は必ず3cm以上残す。
・リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。
・フロントガードを閉じる時にお子さまの指を挟まないよう注意すること。
・フロントガードを装着した後、確実にロックされているか引っ張り、確認すること。
・お子さまを乗せたまま、フロントガードを持ち上げない。

4 最後に



- ①フロントガードを閉じる。
フロントガードを差し込む。



- ②ストッパーをロック解除する。

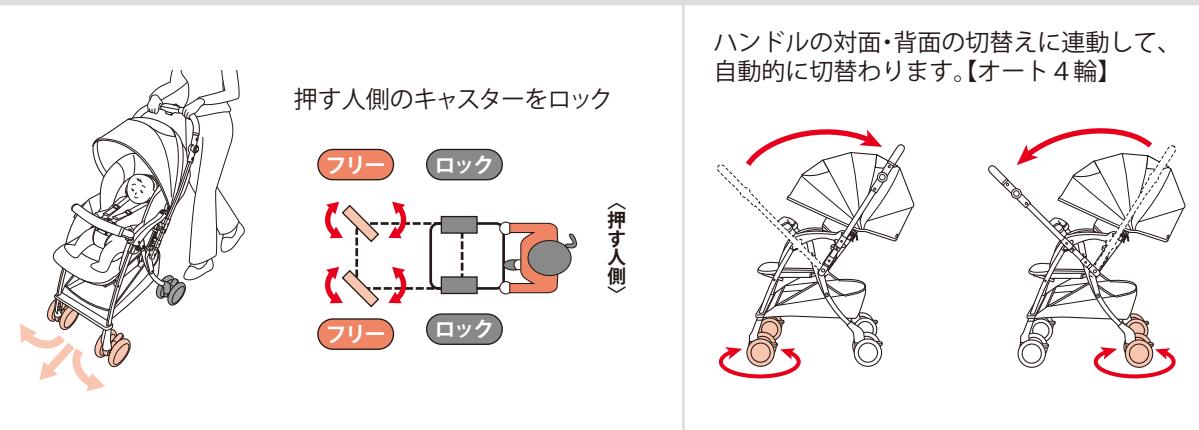
キャスターの使い方

・キャスターは、車輪の向きを変える(車輪を旋回させる)機能で、ベビーカーの方向転換のために使用します。
ご使用する場面に合わせて、各キャスターのロックおよびフリー(ロック解除)を切替えてご使用ください。

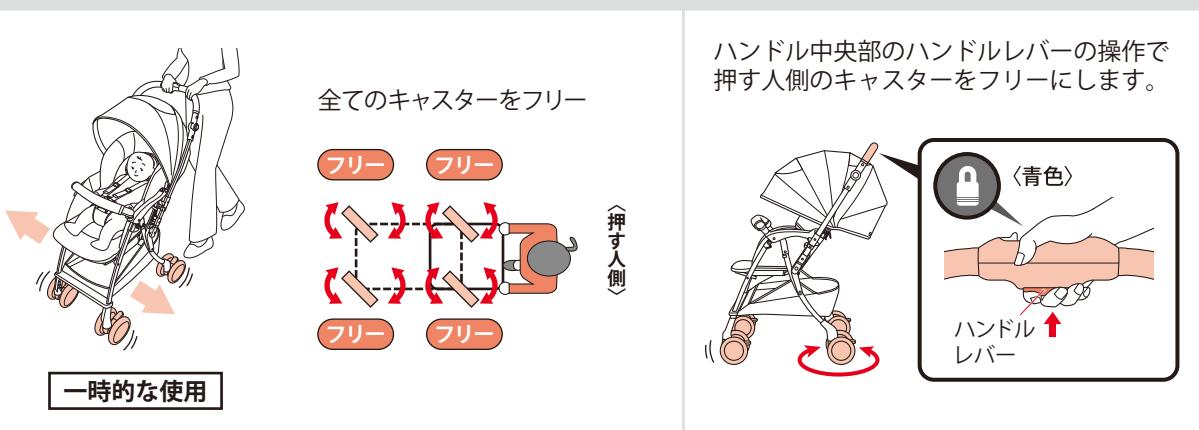


各キャスターの使い方の詳細は、必ず各参照ページをご確認いただき、注意事項と手順を守ってご使用ください。

通常走行 通常はこちらの状態でご使用ください



横スライド【4輪フリー】 狹い場所や人をよける時などに



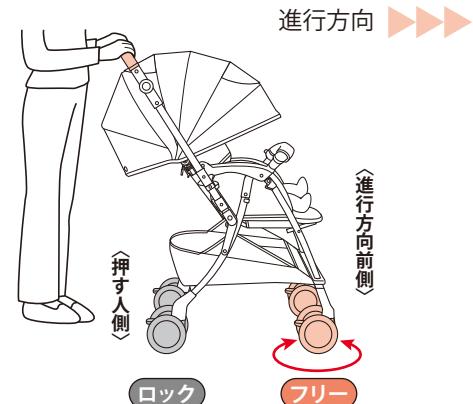
※イラストは背面時を表していますが、対面時でもご使用いただけます。

ハンドルの切替え方(オート4輪の使い方)

オート4輪について

- ・本製品はハンドルを背面、対面に切替えて使用することができます。
- ・ハンドル切替えに連動して、キャスターのロックとフリー(ロック解除)が切替わります。
常に押す人側のキャスターがロック、進行方向前側のキャスターがフリーになるので、方向転換がスムーズに行えます。

背面(お子さまの後方から押す場合)



対面(お子さまと向かい合って押す場合)

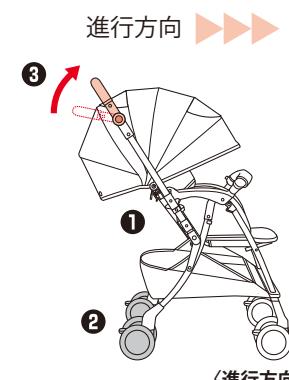


1 準備

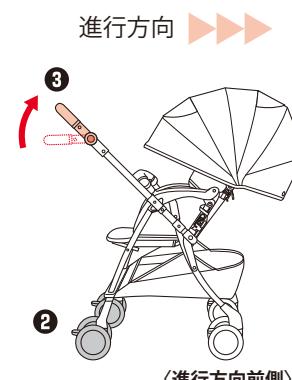


- ・必ずベビーカーが完全に開いた状態でハンドル切替えを行うこと。
- ・ハンドル切替えは、ハンドルを切替えられる十分なスペースのある場所で行う。狭い場所で切替えると、ハンドルロックが正常にかかるないおそれがあります。
- ・ハンドル切替え中にベビーカーが転倒するおそれがあります。
・ハンドル切替えは、傾斜のない平坦で安全な場所で行うこと。
・ベビーカーを停車させた状態でハンドル切替えを行うこと。

背面



対面

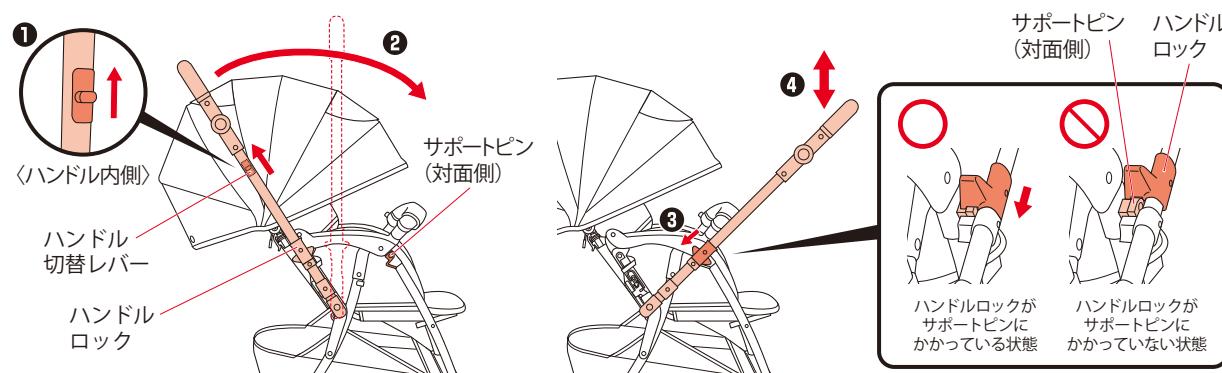


①背面から対面への切替えの場合、ベビーカーが完全に開いていることを確認する。(P8「開閉ロックの確認」参照)

②押す人側のキャスターがロックされている(旋回しない)ことを確認する。(P15参照)

③ハンドルをまっすぐに起こす。(P8「ハンドルの角度調節の使い方」参照)

2 ハンドルを切替える



①ハンドル切替レバーを左右同時に引き上げながら、
②ハンドルの向きを切替える。

③ハンドルロック(左右)をサポートピンにかける。
④ハンドルを上下に動かし、ロックされたことを確認する。

・イラストは『背面から対面』へのハンドル切替えを示していますが、『対面から背面』への切替えの場合も同様の手順とロックの確認を行ってください。

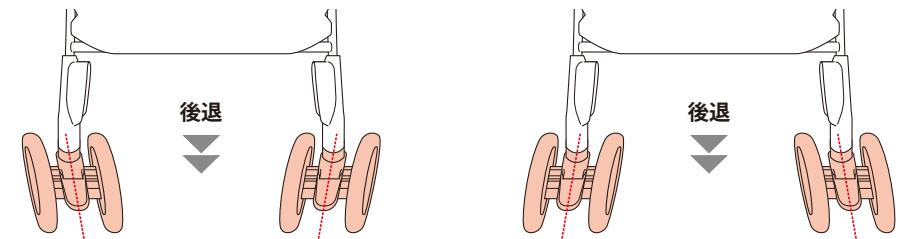


- ・ハンドルロックはサポートピンに左右ともかけ、必ずハンドルを上下に動かしてロックの確認を行うこと。ハンドルロックが正常にかかっていない場合、ベビーカーが転倒するおそれがあります。
- ・ハンドルを切替える時は、お子さまの指や手足を挟まないように注意すること。
- ・ハンドル切替レバー付近に市販のカップホルダーを取り付けたり、荷物を吊るしたりしない。ハンドルロックが正常にからなくなるおそれがあります。



エレベーターや電車の乗り降りなど、やむを得ずベビーカーを後方に動かす(バックする)時、押す人側のキャスターが、路面状況(摩擦抵抗など)からの影響を受けて、下記のような状態になります、動かしにくい感じる場合がありますが、故障ではありません。

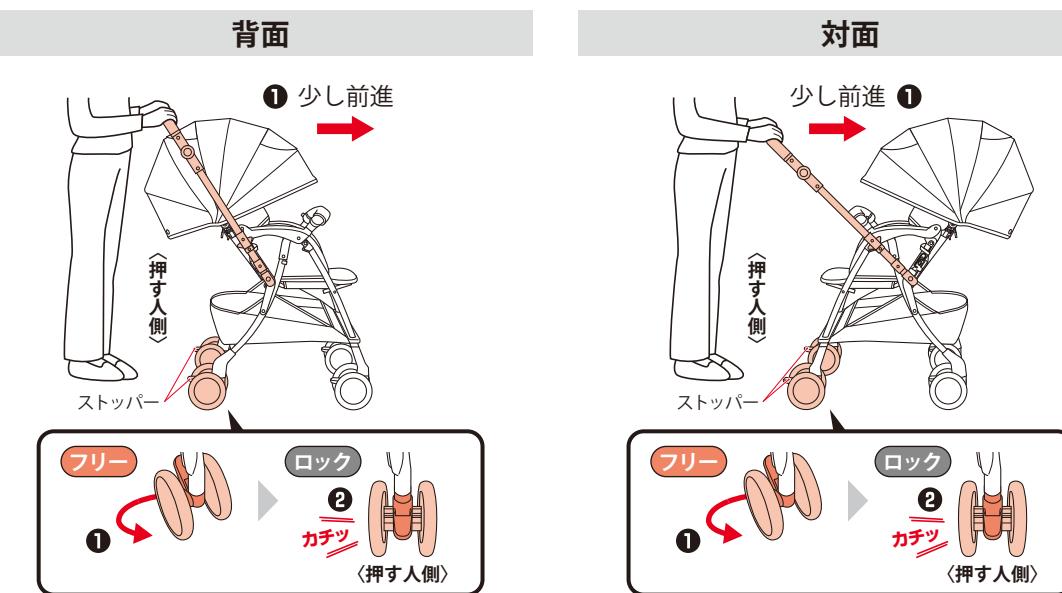
●ハの字になる



●車輪が浮く ●がたつく

このような現象が発生した場合は、以下の操作を行ってください。

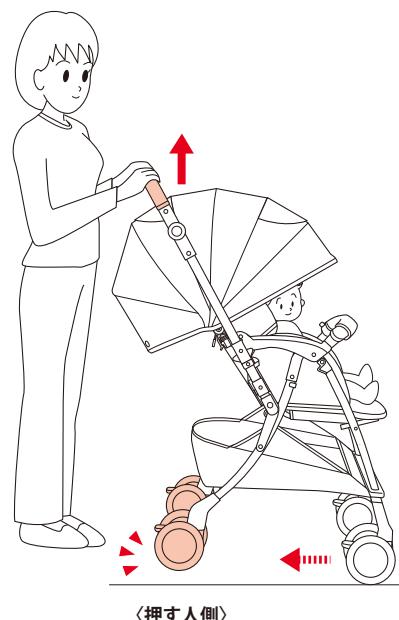
3 押す人側のキャスターをロック



①ベビーカーを少し前進させて、ストッパーが押す人側を向くようにキャスターを回転させる。(左右)

②「カチッ」と音がして、押す人側のキャスターが自動ロックされます。

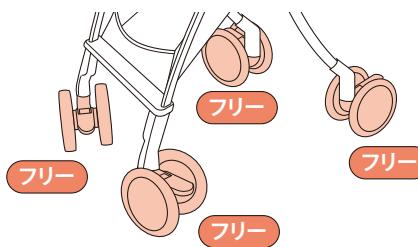
・ハンドル切替え中と切替え直後(上記①②の操作を行うまで)は、全てのキャスターがフリーの状態です。車体が不安定になりますので、必ず押す人側のキャスターを自動ロックさせてから、使用してください。



●ハンドルを持ち上げて、押す人側の足元にある車輪を軽く浮かせて後方に動かす。

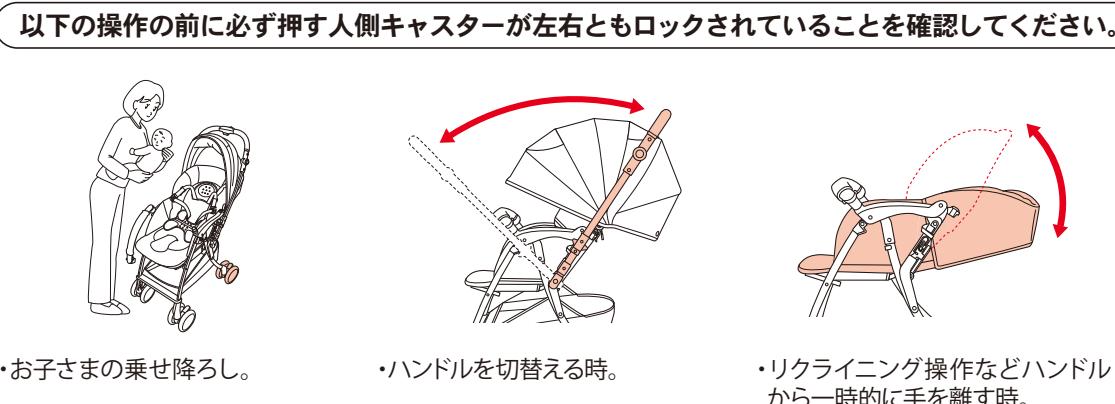
押す人側キャスターの使い方(4輪フリーの使い方)

- 本製品は、押す人側キャスターをフリーにすることで全てのキャスターをフリー(4輪フリー)にすることができます。全てのキャスターがフリーであることで、横スライドなどの移動が可能です。一方で、キャスターがロックされるまでの間、各キャスターが不規則な向きになる場面があり、場合によっては車体が不安定になるおそれがあります。
- 以下の注意事項と警告、次ページ以降の操作手順をよく読み、正しくお使いください。



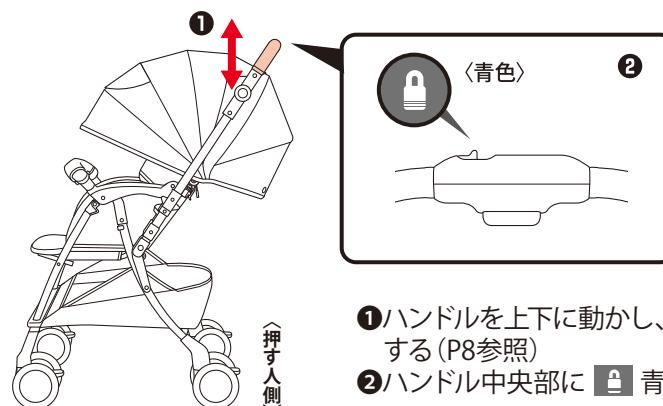
押す人側キャスターをフリーにする場合は以下の点に注意してご使用ください。

- ・ハンドルに荷物をつるさない。
 - ・凸凹道、坂道、傾斜地などでは使用しない。
- 注意**
- ・ハンドルレバーを握っていない方の手で、ハンドルをしっかりと握る。
 - ・フリー操作開始から再びキャスターがロックされるまでハンドルを握ったまま。
 - ・押す人側キャスターのフリー操作使用後は再びキャスターを左右ともロックする。

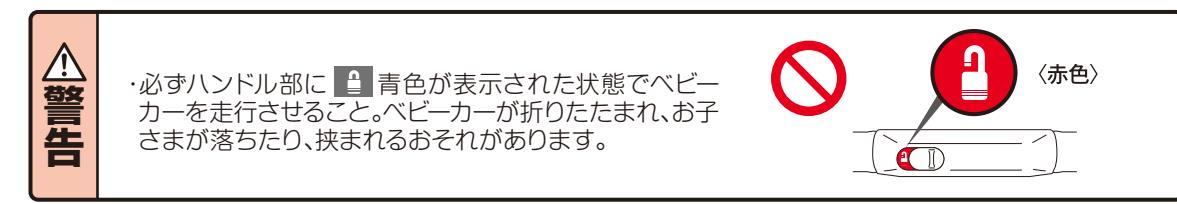


- 警告**
- キャスターが不規則な向きになり、車体が不安定になることで、ベビーカーが転倒するおそれがあります。
- ・押す人側キャスターのフリー操作開始から、押す人側キャスターのロックが左右ともかかったことを確認するまで、ハンドルをしっかりと握っておく。
 - ・ハンドルに荷物をつるさない。
 - ・横スライドなど、押す人側キャスターをフリーにする操作は一時的な使用に限り、使用後は必ずキャスターを再びロックする。
 - ・お子さまを乗せる時や降ろす時は必ず押す人側キャスターを左右ともロックする。
 - ・ハンドルを切替える時や、リクライニング操作時は、必ず押す人側キャスターを左右ともロックする。
 - ・凸凹道、坂道、傾斜地などの走行時には押す人側キャスターをフリーにしない。

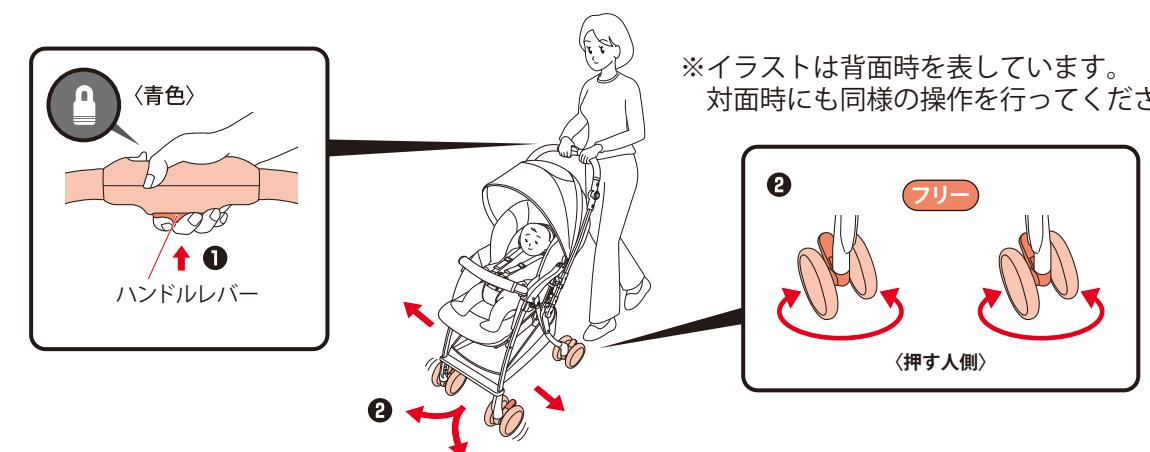
1 準備



- ①ハンドルを上下に動かし、開閉ロックがかかっていることを確認する(P8参照)
②ハンドル中央部に 青色が表示されていることを確認する。



2 押す人側キャスターをフリーにする



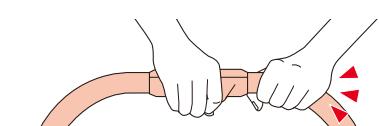
*イラストは背面時を表しています。
対面時にも同様の操作を行ってください。

- ①ハンドルをしっかりと握った状態で、もう一方の手でハンドルレバーを握る。(押す人側キャスターがフリーになります。)

- ②ハンドルレバーを握ったままベビーカーを動かしたい方向に動かす。(ハンドルレバーを握っている間は、キャスターはロックされません。)

- ・ハンドルレバーを握っていない側の手でハンドルをしっかりと持って操作してください。

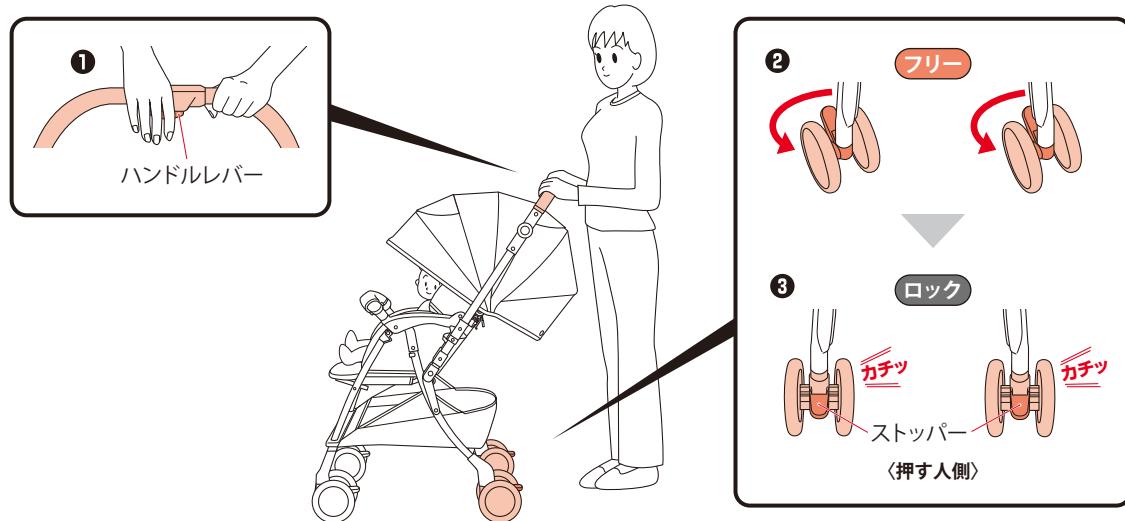
- ハンドル角度を変えた状態でも押す人側キャスターのフリー機能をお使いいただけますが、ハンドル角度によっては、操作しづらくなります。その場合は、操作しやすいハンドル角度に調節してお使いください。



押す人側キャスターの使い方(4輪フリーの使い方)

3 押す人側キャスターを再びロックする(フリー状態から戻す)

・横スライドなど、押す人側キャスターをフリーにする操作は一時的な使用に限ります。使用後は必ず下記の操作でキャスターを再びロックしてください。



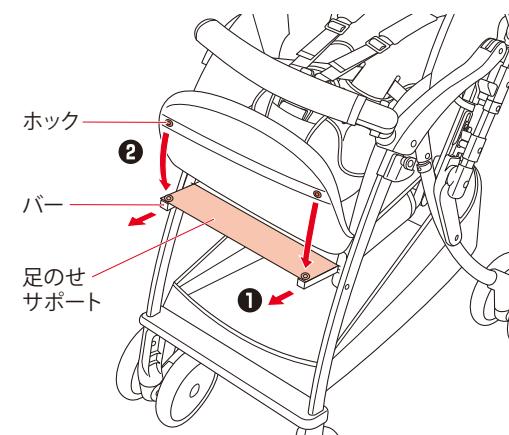
- ①ハンドルレバーを握っていない方の手は必ずしっかりとハンドルを握った状態で、もう一方の手をハンドルレバーから離す。
- ②ベビーカーを前に押して、押す人側のストッパーが押す人側にまっすぐ向くようにキャスターを回転させる。
- ③「カチッ」と音がして、押す人側キャスターが左右ともロックされたこと(旋回しないこと)を必ず確認する。

・「カチッ」と音がしても、片側だけしかキャスターがロックされない場合があります。その場合は更にベビーカーを前に押して、必ず左右ともキャスターをロックさせてください。
片側だけしかロックされていない場合、ベビーカーが転倒するなどのおそれがあります。



足のせサポートの使い方

・足のせサポートは、背もたれを倒した時などにお子さまを楽な姿勢にすることをサポートします。

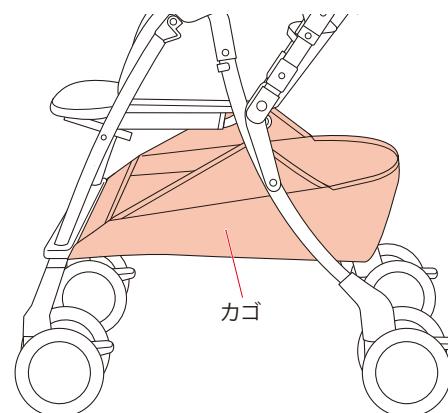


- ①シート座部を持ち上げ、足のせサポートを引き出す。(左右)
・ロックがかかるまで最後まで引き出してください。
- ②シート裏のホックを足のせサポート先端のホックにとめる。(左右)
・足のせサポートを使用しない場合は、ホックを外し、足のせサポートのバーを内側に押し込んでください。(左右)

カゴの使い方



- ・カゴには鋭利な形状をした物を入れない。カゴが損傷することがあります。
・重量5kg以上の荷物を入れない。
・ベビーカーを折りたたむ時は荷物を取り出す。
・カゴには貴重品などを入れない。



- カゴの上部から荷物の出し入れをする。

- ・カゴは取り外さないでください。
カゴ前方のホックを外してカゴの生地をステップから取り外してしまって再び取り付けることができなくなる場合がありますのでご注意ください。

-  **アドバイス** 荷物はできるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように載せてください。

リクライニングの角度調節

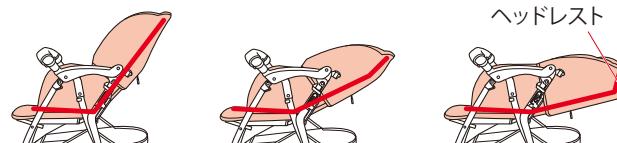
・リクライニングの角度調節機能は、お子さまの姿勢を快適に保つことをサポートします。

（リクライニング位置の目安）

月齢／発達の目安	リクライニングの位置
1ヶ月～首がすわるまで	一番倒した状態
首がすわってから、ひとり座りできるまで	一番倒した状態～中間位置
ひとり座りてきてから	一番倒した状態～一番起こした状態

※上記表示は目安であり個人差があります。

〈一番起こした状態〉 〈中間位置〉 〈一番倒した状態〉



- ・背もたれを一番倒した状態にすると、ヘッドレストが起き上がります。
- ・一番倒した状態では、お子さまが乗って平らになるように設計されています。

警告

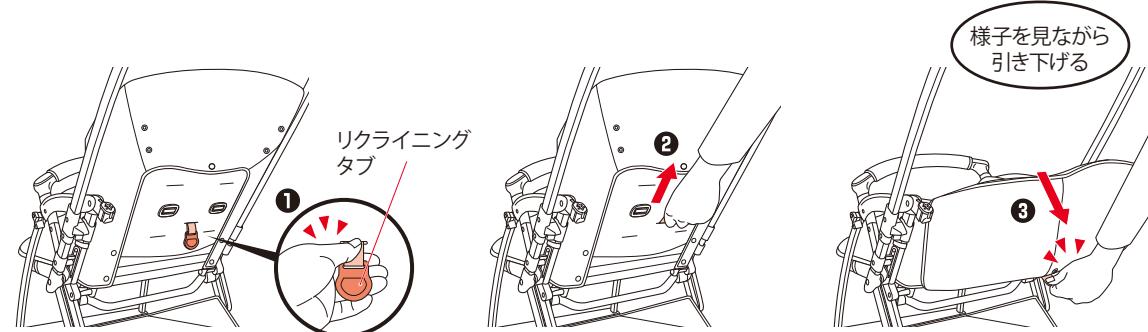
- ・リクライニングの調節は、平坦で安定した場所で、ベビーカーを停止した状態で行う。
- ・リクライニング調節時は、お子さまの様子やベビーカーの状態を確認しながら操作する。
- ・お子さまを乗せた状態で背もたれを倒す時は肩ベルトをゆるめてから行う。
- ・リクライニングの調節後は、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。肩ベルトや腰ベルト、股ベルトがゆるい場合は、締めていてもお子さまが立ち上がり、落下するおそれがあります。

注意

- ・お子さまを乗せたままリクライニング調節をする時は、お子さまの体重を支え、急に角度が変わらないように注意する。
- ・ひとり坐りができるお子さまは、背もたれを倒して使用する。

背もたれを倒す時

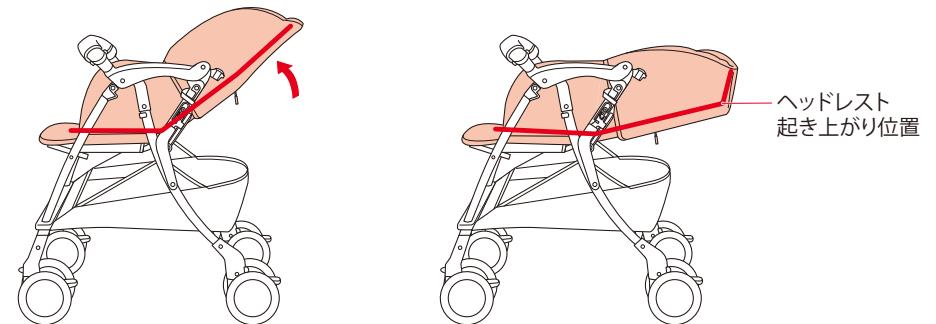
●肩ベルトをゆるめる。（P12 参照）



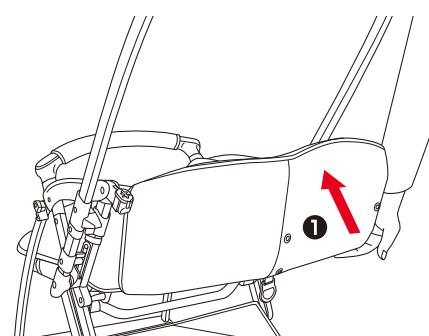
- ①リクライニングタブを持つ。
 - ②タブを上方へ軽く引き上げてロックを外し、
 - ③タブを持ったまま使用する角度まで、下方へ引き下げる。
- ・急に角度が変わらないよう、タブを持つ手で背もたれを支えるように引き下げてください。
 - ・お子さまの様子やベビーカーの状態を確認しながら操作を行ってください。
- リクライニング調節後、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。（P12 参照）

〈お子さまの頭がヘッドレストの起き上がり位置より上まで来るようになったら〉

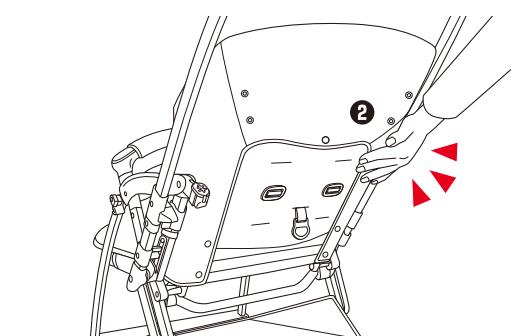
- お子さまが無理な姿勢にならないよう、リクライニング角度を起こしてご使用ください。



背もたれを起こす時 お子さまを乗せた状態でも背もたれを起こすことができます。



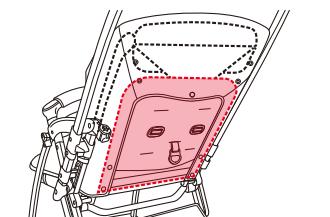
①背もたれ背面を手でゆっくりと押し上げる。



②使用する角度で止める。
・止めた位置で背もたれの角度は固定されます。

注意

- ・背もたれを起こす時は、右図の赤色で示した範囲を手で押し上げるようにしてください。
- ・これ以外の部位をつかんで無理に起こそうとすると、部品が破損するおそれがあります。



リクライニングに関する注意点

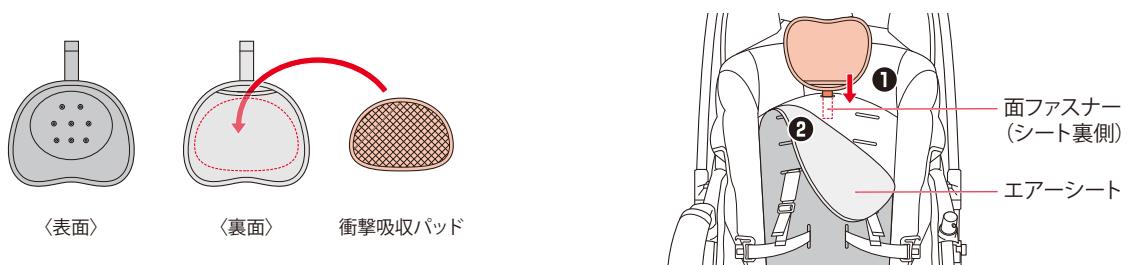
- ・カゴの荷物を出し入れするときに手や荷物が背もたれに当たってしまうなど、意図せず背もたれが起き上がってしまう場合があります。その場合は、再度リクライニング角度を調節し、シートベルトの長さ調節を行ってください。

パッド類の取り付け方

・パッド類は、ベビーカー内においてお子さまの姿勢を適切に保ち、走行中の衝撃やゆれからお子さまを守ります。

ショックレスマモールパッド

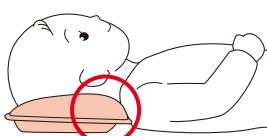
使用期間	使用条件
1ヶ月～首すわり頃(目安:4ヶ月頃)まで※ ※最長7ヶ月頃まで	・肩ベルト高さ下段でのみ使用可 ・お子さまの首の後に合わなくなったら取り外す。



※開梱時、衝撃吸収パッドは裏面のポケットに内蔵されています。

- ①シートのパッド取り付け穴にベルトを通す。
- ②シート裏側の面ファスナーにとめる。

※エアーシート取り付け時はめくって取り付ける。



〈ショックレスマモールパッドの位置〉

- パッド下部のふくらみがお子さまの首の後に合うように取り付けてください。
首の後に合わなくなったら取り外してください。

- ・ショックレスマモールパッドから衝撃吸収パッドを抜いた状態でも使用可能です。
- ・裏面ポケットには衝撃吸収パッド以外のものを入れて使用しないでください。
- ・衝撃吸収パッドには、裏・表はありません。
- ・寒い時期は衝撃吸収パッドが硬くなることがあります、そのままご使用いただいて問題ありません。
- ・衝撃吸収パッドは時間がたつと黄変することがあります、機能上問題はございません。

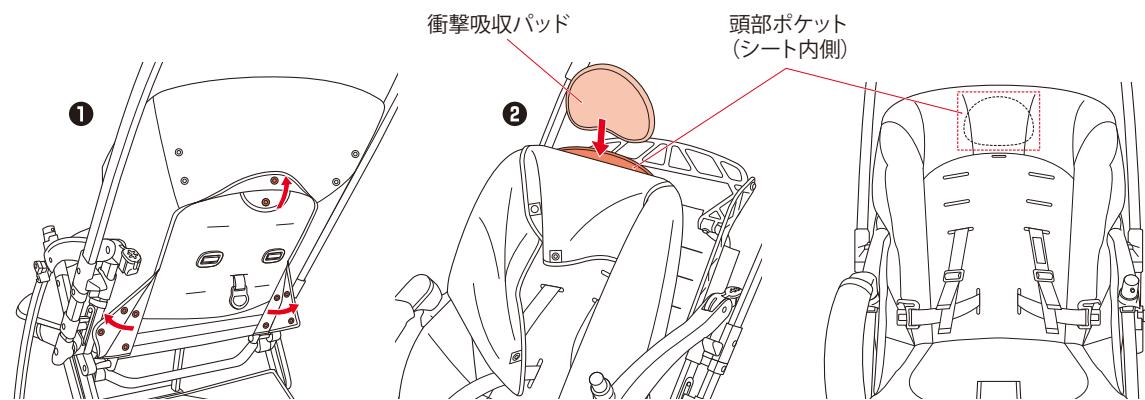


・衝撃吸収パッドを取り出して単体で使用したり、放置しない。お子さまの顔にかかる窒息するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



・ショックレスマモールパッドは、肩ベルト位置が下段でのみ使用し、パッド下部のふくらみの位置がお子さまの首の後に合わなくなったら取り外す。

・衝撃吸収パッドはシート内側の頭部ポケットに入れ替えることもできます。

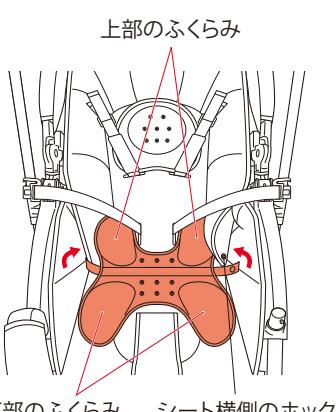


- ①背もたれ背面のホック(中央1カ所、下部左右各2カ所)を外して、シートを前方にめくりあげる。
- ②衝撃吸収パッドをシート内側の頭部ポケットに入れる。
- ③シートを背もたれにかぶせて各ホックをとめる。

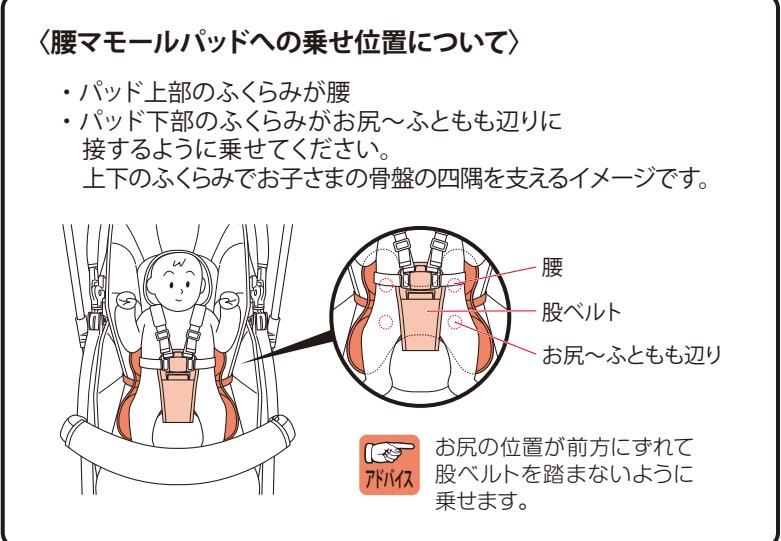
※頭部ポケットに衝撃吸収パッド以外のものを入れて使用しないでください。

腰マモールパッド

使用期間	使用条件
1ヶ月～36ヶ月まで	・お子さまの体格に合わなくなったら取り外す。



- 腰マモールパッド横側のホックをシート横側のホックにとめる。(左右)



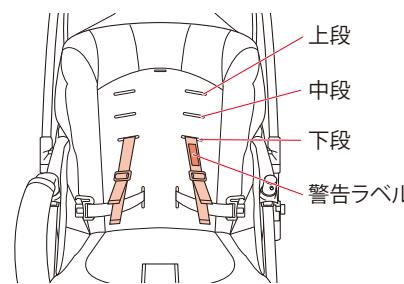
肩ベルトの高さ調節

警告

お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。

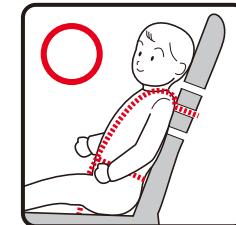
〈肩ベルト位置〉

- ・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。



〈肩ベルトの目安〉

- ・肩の位置より下段に通す。



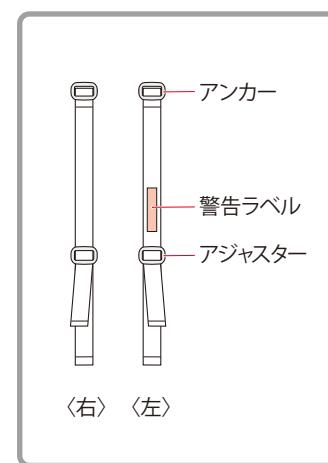
- ・肩ベルトの位置は以下の3段階に調節してください。

月齢の目安	肩ベルト通し穴位置
18カ月～36カ月	上 段
7カ月～18カ月	中 段
1カ月～7カ月	下 段

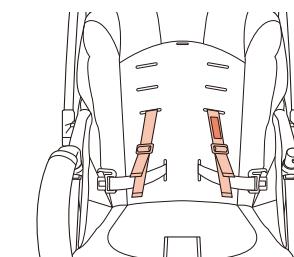
※上記表示は目安であり個人差があります。

肩ベルトの高さ調節のしかた

- ・シートベルトのバックルを解除して、肩と腰のベルトを分離しておきます。

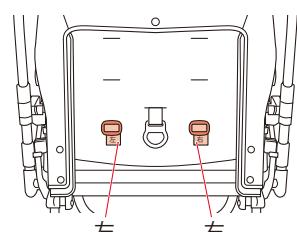


確認ポイント

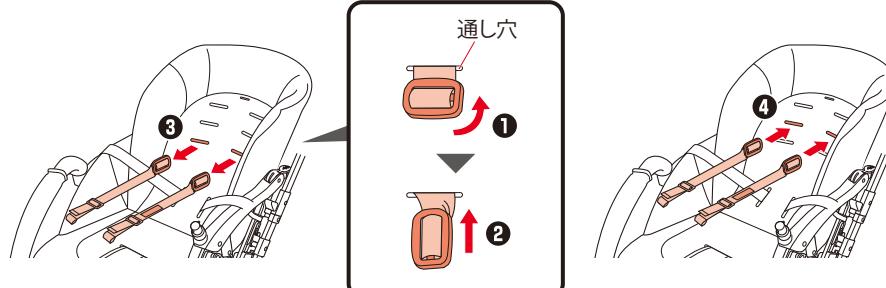


- ・左右の肩ベルトは同じ高さに。
- ・警告ラベルが表に来る。
- ・肩ベルトがねじれていないこと。

〈ベビーカー背面〉



- ・背面から見て左側に「左」、右側に「右」のラベルの付いた肩ベルトが通っている。



- ①通し穴に対して肩ベルトのアンカーを図のような向きになるようにひねる。
- ②そのまま通し穴にアンカーを通して、
- ③穴の反対側からアンカーを引き出す。

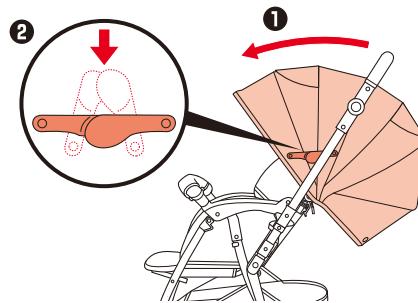
- ④使用する高さの通し穴にアンカーを通して、背面側に引き出す。
- ⑤肩ベルトを2～3回引っ張り、肩ベルトが外れないことを確認する。

日除けの使い方

警告

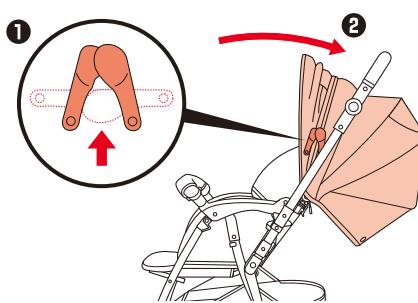
・日除けを開いたり折りたたんだりする時は、お子さまが接触した状態では行わない。可動部でお子さまの指や手を挟むおそれがあります。

開き方



- ①日除けを前方に開く。
- ②日除けレバーをロックする。(左右)

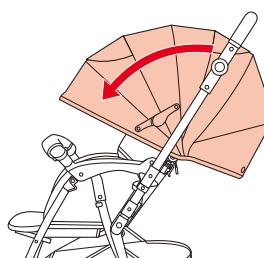
閉じ方



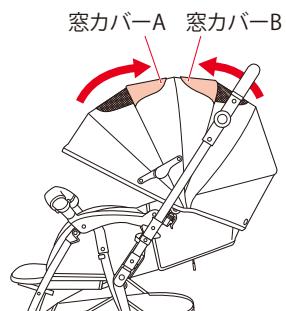
- ①日除けレバーを折りたたむ。(左右)
- ②日除けを閉じる。

日除けの角度調節

- ・背もたれを倒した時や日差しの低い時など日除けの角度を調節できます。

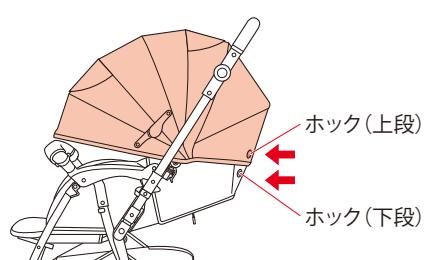


- 日除けを開いた状態で前方向に引き、使用する位置でとめる。



- 日除けの窓カバーを開けると、窓からお子さまの様子を見ることができます。

背もたれを倒した時



- 背もたれを倒した時は日除けのホック(2カ所)をヘッドレスト後側のホックにとめる。
- ・ホック位置は上段下段の2段階に調節できます。お好みに応じてご使用ください。



日除けホックをとめている場合、勢いよく日除けを前方に引くと、一緒に背もたれが起きる場合があります。背もたれを押さえて起き上がりないようにして、日除け角度を調節してください。

ベビーカーの折りたたみ方



- ・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。
- ・お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

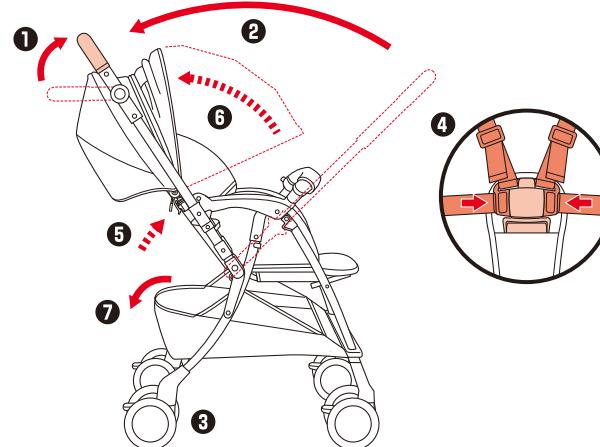


- ・シートベルトを締めてからベビーカーを折りたたむこと。シートベルトが開閉ロック部分に挟まつてベビーカーが折りたためなくなったり、バックルの破損や、バックルのマグネット部分への異物の付着のおそれがあります。
- ・後輪キャスターをロックしてから折りたたむこと。折りたたんだ後、ベビーカーが自立せず、転倒するおそれがあります。

お願い

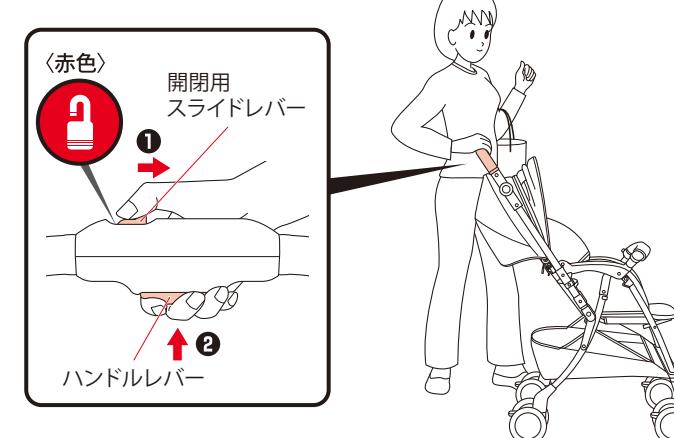
- ・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。

1 折りたたむ前に



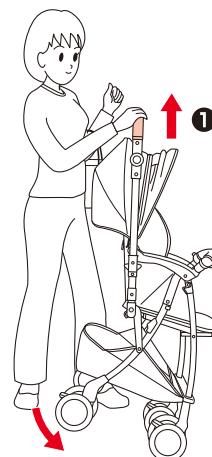
- ①ハンドルをまっすぐに起こす。
- ②ハンドルを背面に戻す。(P15参照)
- ③少し前進させ、押す人側のキャスターをロックする。(P15参照)
- ④シートベルトのバックルをとめる。(P10参照)
- ⑤背もたれを起こす。(P22参照)
- ⑥日除けを閉じる。(P26参照)
- ⑦カゴから荷物を取り出す。

2 ロックの解除

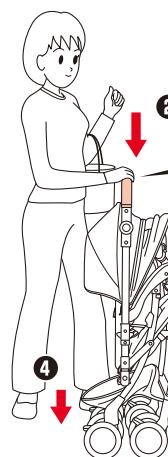


- ①開閉用スライドレバーを矢印の方向へスライドさせた状態で、(①赤色が表示されます。)
- ②ハンドルレバーを強く握る。

3 折りたたむ



- ①ハンドルレバーを握ったままハンドルを持ち上げ、



- ②ハンドルを降ろして折りたたむ。
- ③ハンドルレバー、開閉用スライドレバーから手を離す。
- ・手を離すと開閉用スライドレバーは自動でスライドして戻ります。(①青色が表示されます。)
- ④押す人側のストッパーをロックする。(P9参照)



片手で折りたたみづらい場合は、もう一方の手でフロントガードを持って折りたたんでください。

折りたたんだベビーカーを持ち運ぶ時



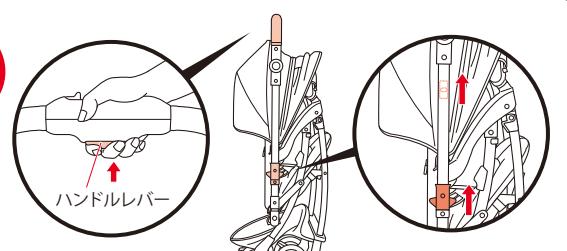
- ・ハンドル持ち手部分、フロントガード、座面下のバーのいずれかを持って持ち運んでください。
- ・お子さまを乗せたまま持ち運ばないでください。



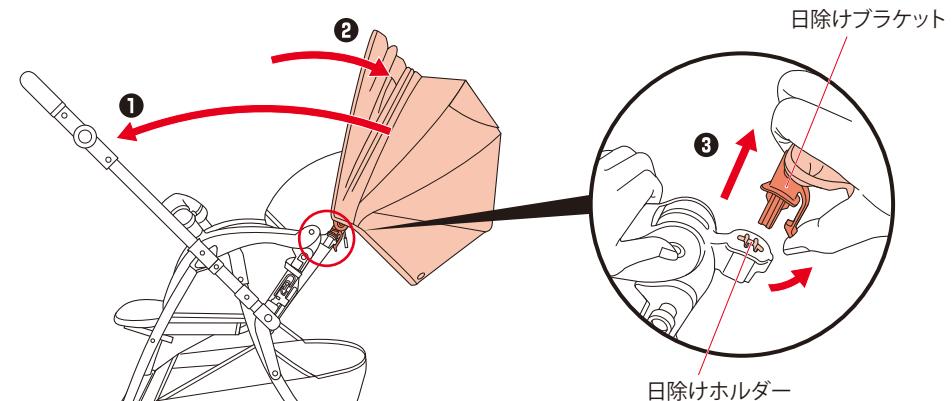
- ・お子さまを乗せたまま座面下のバーをつかんでベビーカーを持ち上げない。
- ベビーカーが破損し、ベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。



- ・ハンドル切替レバーやハンドルロック付近を持たない。ハンドルロックが解除される場合があります。
- ・折りたたみ後、ハンドルレバーを握らない。後輪キャスターがフリーになり、ベビーカーが自立しなくなる場合があります。

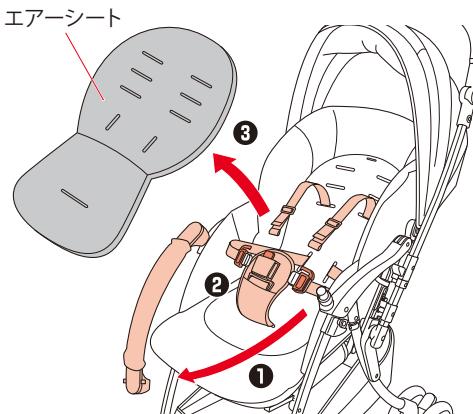


日除けの取り外し方

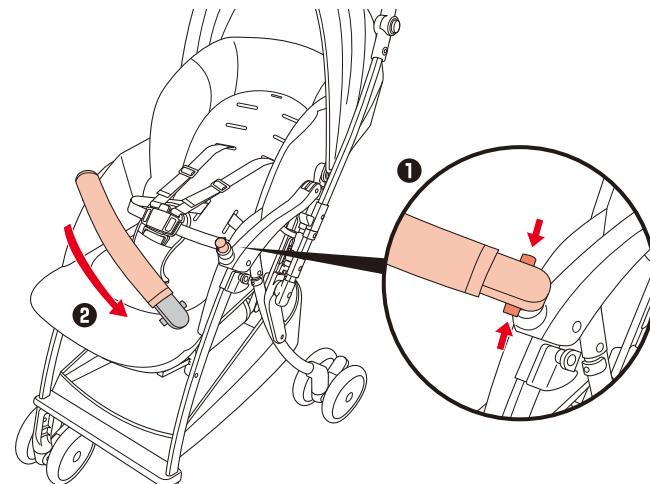


エアーシートの取り外し方

- ・エアーシートを取り外した状態でも、お子さまを乗せてお使いいただけます。
- ・エアーシートは裏面も表面と同様にお使いいただけます。



フロントガードカバーの取り外し方



シートの取り外し方

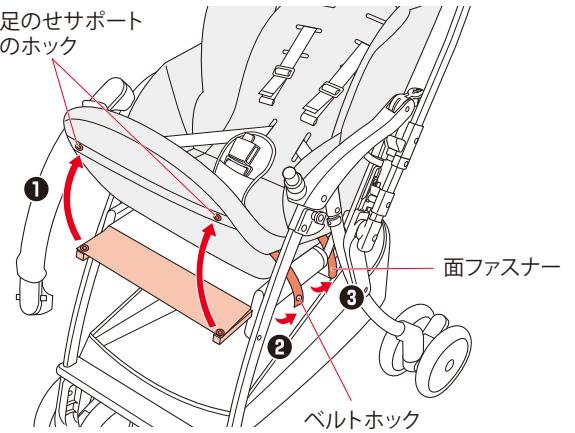


・シートを外した状態で使用しない。ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。



日除けを取り外してから行うと、作業しやすくなります。(P29参照)

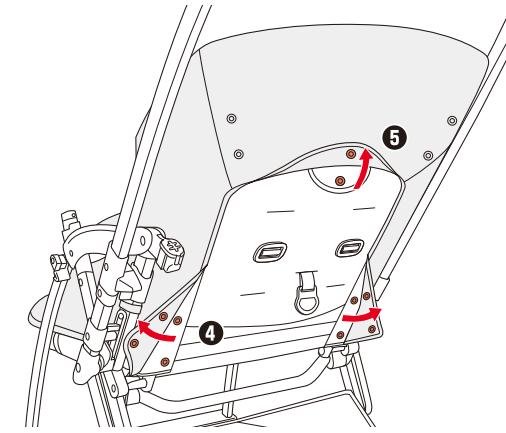
- ・フロントガードを開いて、股バックルの解除ボタンを押し、腰バックルを外す。
- ・肩ベルトから肩ベルトカバーを取り外す。



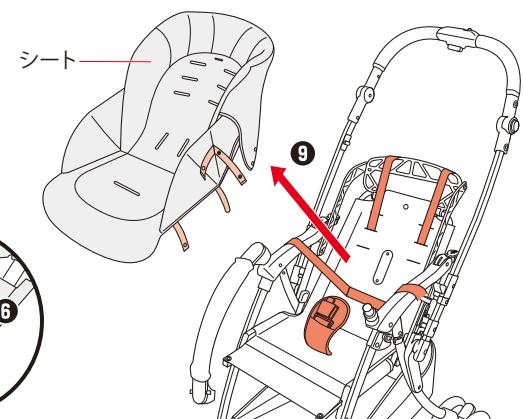
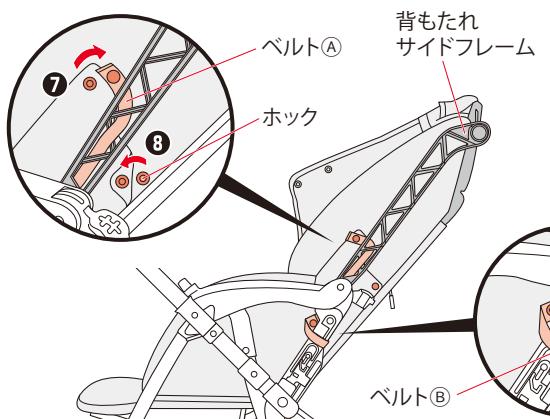
- ①足のせサポートのホック(左右)を外す。
(足のせサポート使用時)
②シート座面裏側のベルトホック(左右)を外す。
③シート座面裏側の面ファスナー(左右)を外す。



ハンドルを対面に切り替えると、作業しやすくなります。(P15参照)

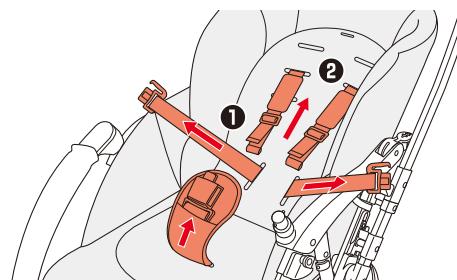


- ・シートの生地をめくり上げる際、背もたれサイドフレームやヘッド部に生地が引っかかった状態で無理にシートを引っぱらないでください。フレームの変形のおそれがあります。

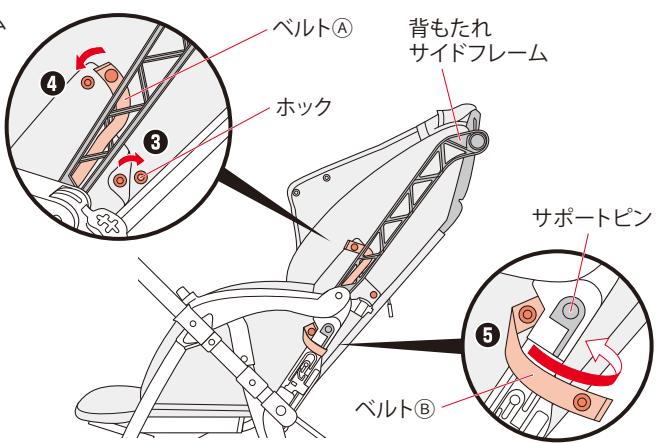
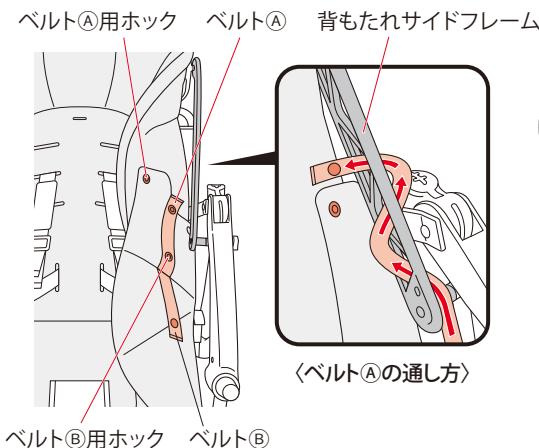


- ⑥座席脇のベルトⒷのホックを外す。(左右)
⑦ベルトⒶのホックを外し、背もたれサイドフレームから引き抜く。(左右)
- ⑧ホックを外す。(左右)
⑨股ベルトと腰ベルト、肩ベルトをシートから引き抜き、シートを取り外す。

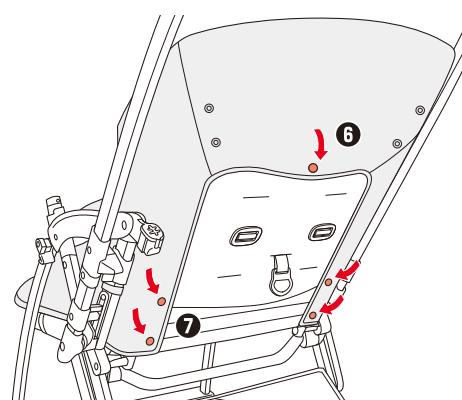
シートの取り付け方



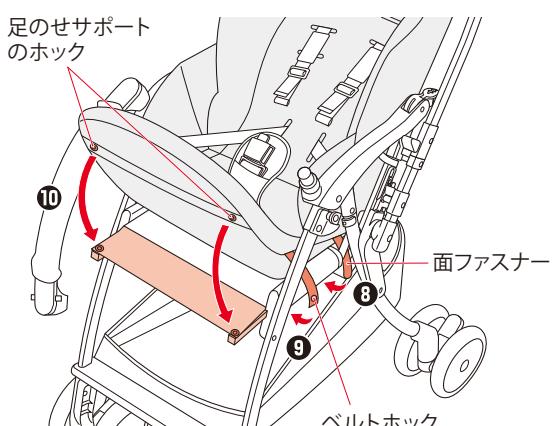
- ①股ベルトと腰ベルト、肩ベルトを通し穴に通し、シートを取り付ける。
- ②肩ベルトに肩ベルトカバーを取り付ける。(左右)



- ③ホックをとめる。(左右)
 - ④背もたれサイドフレームにベルトⒶを通し、ベルトⒶ用ホックをとめる。(左右)
 - ⑤座席脇のフレームにベルトⒷを巻き付け、ベルトⒷ用ホックでとめる。(左右)
- ※ベルトⒷはサポートピンにかかるないように、サポートピンの下部で巻き付けてとめてください。



- ⑥背もたれにシートをかぶせ、背面頭側中央のホックをとめる。
 - ⑦背もたれ背面下部のホック(左右各2カ所)をとめる。
- ・シートベルトを締める(P10参照)
 - ・フロントガードを閉じる。



- ⑧シート座面裏側の面ファスナー(左右)をとめる。
- ⑨シート座面裏側のベルトホック(左右)をとめる。
- ⑩足のせサポートのホック(2カ所)をとめる。(足のせサポート使用時)

日常のお手入れ

縫製品の洗浄方法

〈エアーシートの洗浄について〉



※洗濯ネット使用、ねじり又は絞り禁止

- ・エアーシート洗浄時は、お使いの洗濯機のメーカーと設定によって異なりますが、しっかり洗うコースなど強い洗濯のコースを避けて、標準やデリケートなどのコースを選んでください。

- ・脱水機の使用は短時間(2~3分)にしてください。

〈シート、フロントガードカバー、股ベルトカバー、肩ベルトカバーの洗浄について〉



※洗濯ネット使用、ねじり又は絞り禁止

- ・シート洗浄時は、お使いの洗濯機のメーカーと設定によって異なりますが、デリケートコースやドライコースなど、より弱いコースを選んでください。

- ・脱水機の使用は短時間(2~3分)にしてください。

〈ショックレスマモールパッド※、衝撃吸収パッド※、腰マモールパッドの洗浄について〉



※ねじり又は絞り禁止

※ショックレスマモールパッド、衝撃吸収パッドの洗浄についての注意点

- ・ショックレスマモールパッドから衝撃吸収パッドを取り出して、別々に洗濯してください。
- ・衝撃吸収パッドを洗濯機で洗うと変形の原因になります。洗濯機で洗わず、手洗いをしてください。
- ・衝撃吸収パッドはきついもみ洗いはしないでください。



- ・縫製品を屋外で干す時は、日陰の平干しにしてください。
- ・アルカリ性洗剤、酸性洗剤、塩素系漂白剤を使用しないでください。

〈日除け、肩ベルト、腰ベルト、股ベルト、カゴの洗浄について〉

- ・丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。

●水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合

40°C前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を充分に洗います。その後、乾いたタオルなどで充分に水分を取って日陰で乾燥させます。

●非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合

中性洗剤を40°C前後の湯に溶かし、汚れた所をブラシまたはスポンジで軽く洗います。その後、冷水又は温水で中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで充分に水分を取って、日陰で乾燥させます。



- ・縫製品に破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。

車体のお手入れ

<フレームや車輪のお手入れについて>

- ・フレームやバックル、車輪について砂や泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。
- ・腰バックルの表面に砂鉄などの異物が付着した場合は、粘着テープなどを使用すると取り除きやすくなります。



- ・フレームや車輪に砂や泥、ホコリが付いたままで使用しないでください。スライド部に砂などが入り、開閉できなくなります。
- ・泥、ほこりなどの拭き取りには、シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。

・車輪は消耗品です。車輪交換が必要な場合は弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。
(車輪交換は有償)

<ネジ・ナット類について>

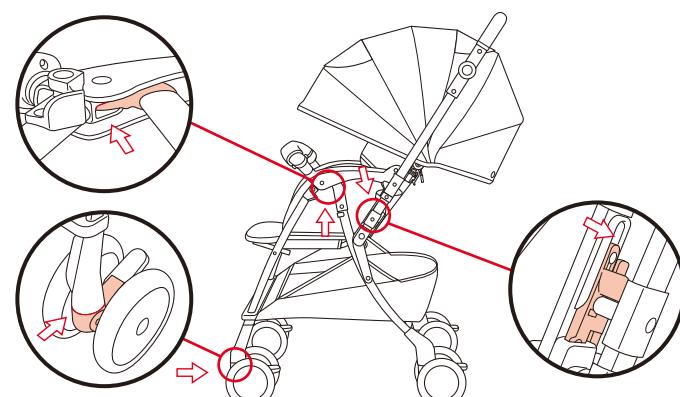
- ・ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検の上、ゆるみが生じた場合は弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P37参照)

<フロントガードについて>

- ・フロントガードの差し込み部についてホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

<注油について>

- ・可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはシリコン滑走剤を使用ください。
- ・注油の前には、泥やホコリを落とし、充分に水分を拭き取ってください。
- ・注油は、1カ所につき2~3滴程度としてください。



- 車体がスムーズに開閉しない場合や、キャスターがスムーズに回転しない場合、車輪や車体がきしむ場合は、シリコン滑走剤を図の➡の箇所にさし、開閉操作を2~3回行います。
(開閉の場合のみ)



- ・フロントガードとアームレストの接続部付近及び内部には、シリコン滑走剤などを付着させないでください。
フロントガードが外れるおそれがあります。



保管について

- ・ベビーカーを折りたたみ、ポリ袋などに入れ、車体を立てた状態で直射日光のあたらない、冷暗所に保管してください。



- ・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しないでください。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
- ・上に荷物を置いたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- ・やむを得ずベビーカーを横向きに寝かせて保管する場合も、上に荷物を置いたり、車体が斜めになるような置き方をしないでください。故障や変形の原因となります。

点検について

- ・定期的に製品に異常がないことを点検してください。

- 部品が欠落、破損、変形していないか。
- ストッパーに破損や変形がないか。ストッパーが確実にかかるか。
- 製品の各固定部にゆるみやきしみ音、カタカタ音が無いか。
- タイヤやキャスターがスムーズに回転するか。
- シートベルトのバックルに異物がはさまっていないか、確実にとめられるか。
- 縫製品の破れやホック、面ファスナーの外れがないか。
- シートや日除け、シートベルトが正しく取り付けられているか。



- ・製品に破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。

廃棄について

- ・お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
- ・環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。

困った時

・下記の対処方法で解決しない場合は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P37 参照)

〈ご使用中に困った時〉

お気づきの点	対処方法
開閉 ベビーカーが開かない	開閉用スライドレバーをスライドさせ、 赤色が表示された状態でハンドルレバーを握って開いてください。(P7参照)
	シートの生地やシートベルトがアームレストや開閉ロックなどのフレームに挟まっているか確認してください。
走行・方向転換(キャスター) ベビーカーが折りたためない	〈折りたたむ前に〉〈ロックの解除〉を行ってから折りたたんでください。(P27参照)
	開閉ロック部分にシートベルトが挟まっていないか確認してください。
ストッパーがきかない	ストッパー部に石などが挟まっていないか確認してください。
横スライドがしにくい	ハンドル部に 青色が表示されている状態でハンドルレバーを握ってください。(P17, 18 参照)
横スライド操作後、押す人側キャスターがフリー状態からロック状態へ戻らない	ハンドルレバーから手を離しただけでは、押す人側キャスターは再びロックされません。ベビーカーを少し前方に押し、押す人側キャスターを旋回させ、ロックさせてください。(カチッと音がして、キャスターが旋回しなくなったことを確認してください。) (P19参照)
ベビーカーを後方に動かす時、操作しにくい	ハンドルを持ち上げて押す人側の足元にある車輪を軽く浮かせて動かしてください。(P16参照)
キャスターの回りが悪い	キャスターにシリコン滑走剤をさしてください。(P33参照)
ハンドルを切替える、前後のキャスターのロックとフリーがうまく切り替わらない	前後どちらかのキャスターへ過度の荷重がかかっている可能性があります。 ・カゴの中に荷物がある場合はできるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように載せてください。 ・お子さまをシートの中央に(お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せるようにして)乗せてください。
ハンドル切替え ハンドル切替えができない(ハンドルが動かない)	車体が完全に開き、開閉ロックが降りていることを確認してください。(P8参照)
	左右のハンドル切替レバーを引き上げてハンドルロックを解除してから切替えてください。(P15参照)
リクライニング 背もたれが起き上がっていた	背もたれに荷物がぶつかるなどして、意図せず背もたれが起き上がりてしまう場合があります。再度リクライニングを調節し、併せてシートベルトの調節を行ってください。(P22参照)
ベルト バックルがとめられない	衣類などの生地やシートベルトがバックルに挟まっていたり、異物がバックルに付着していないか確認してください。
保管 ベビーカーが自立しない(折りたたみ時)	押す人側キャスターがフリー状態のまま折りたたむと自立しません。再度ベビーカーを開き、押す人側キャスターをロックしてから折りたたんでください。(P15参照) ベビーカーが折りたたまれた後は、ハンドルレバーを握ったままにしないでください。
保守 タイヤが消耗した	タイヤが消耗し、走行に異常を感じた時はタイヤの交換が必要な場合があります。 弊社お客様サポートセンターに連絡してください。(P37参照)

〈再利用する時〉

お気づきの点	対処方法
前の使用者がどのような使い方をしていたのかわからない時は	使用状態が不明な商品をご使用になるのはお勧めできません。
ベビーカーにクラック(ひび割れ)や大きな傷がある時は	ご使用になれません。

SGマーク制度について

SGマーク制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって人身事故が発生した場合に、製品安全協会が賠償措置を行う制度です。

- ・ベビーカーの場合、ご購入後4年以内の製品が対象となります。
- ・SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではありません。
- ・人的損害(治療費等)を賠償するものであり、物的損害は賠償の対象なりません。

【製品の欠陥によって事故が起きた場合】

事故が発生した日から60日以内に製品安全協会へ連絡してください。
または、事故が起きたらすぐに製品安全協会へ連絡してください。

ご連絡は製品安全協会ホームページの「SGマーク賠償制度とは」の下部にある事故申出フォームをお使いください。

<https://www.sg-mark.org/reparation>



保証とアフターサービスについて

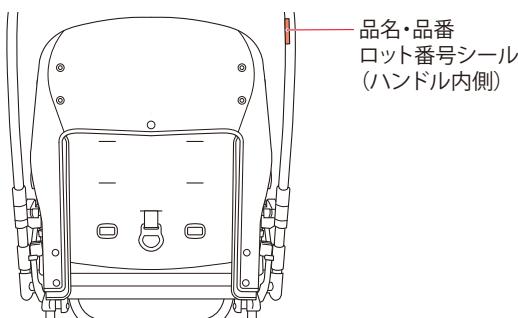
◎保証について

- ・保証期間中(購入日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。故障の箇所によっては、修理できない場合がございます。
ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。(修理箇所の保証期間は1ヶ月です。)
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。)

◎アフターサービスについて

- ・ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音があつたり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号(下図参照)をご確認のうえ、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、以下の位置にあるシールの
品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



お買い上げ時レシート
貼り付け位置

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ベビーカーお買い上げ時のレシート(領収書)を貼り付けてください。

アフターサービスについての連絡先

ニューウエルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉

ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

受付時間:AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)